

市川市庁舎整備に関する市民意向調査業務委託

報 告 書

平成 24 年 3 月

市 川 市

パシフィックコンサルタンツ株式会社





---

**目次**

---

<b>1 調査概要</b>	<b>01</b>
1.1 調査の目的	01
1.2 調査概要	01
1.3 調査内容	02
<b>2 調査結果</b>	<b>03</b>
2.1 回答者属性	03
(1) 性別	03
(2) 年齢	04
(3) 職業	05
(4) 市川市に居住している期間	06
(5) 家族構成	07
(6) 居住地区	08
2.2 本庁舎の訪問経験	09
(1) 本庁舎の訪問経験	09
(2) 年齢別 本庁舎の訪問経験	10
(3) 居住地区別 本庁舎の訪問経験	11
2.3 本庁舎の訪問回数	12
(1) 本庁舎の訪問回数	12
(2) 年齢別 本庁舎の訪問回数	13
(3) 居住地区別 本庁舎の訪問回数	14
2.4 本庁舎までの交通手段	15
(1) 本庁舎までの交通手段	15
(2) 年齢別 本庁舎までの交通手段	16
(3) 居住地区別 本庁舎までの交通手段	17
2.5 本庁舎へ訪れたことがある用件	20
(1) 本庁舎へ訪れたことがある用件	20
(2) 年齢別 本庁舎へ訪れたことがある用件	21
(3) 居住地区別 本庁舎へ訪れたことがある用件	22
2.6 本庁舎を訪れて不便に感じたこと	23
(1) 本庁舎を訪れて不便に感じたこと	23
2.7 耐震診断結果の認知度	24
(1) 耐震診断結果の認知度	24
(2) 年齢別 耐震診断結果の認知度	25
2.8 本庁舎の建て替えに関する動向	26
(1) 本庁舎の建て替えに関する意向	26
(2) 年齢別 本庁舎の建て替えに関する意向	28
(3) 居住地区別 本庁舎の建て替えに関する意向	29

---

（４）本庁舎を訪れて不便に感じたこと別 本庁舎の建て替えに関する意向	30
（５）市川市に居住している期間別 本庁舎の建て替えに関する意向	32
<b>2.9 現在地を建て替え分散しなければならない場合の優先事項</b>	<b>33</b>
（１）現在地を建て替え分散しなければならない場合の優先事項	33
（２）年齢別 現在地を建て替え分散しなければならない場合の優先事項	34
<b>2.10 希望する移転先の地区</b>	<b>35</b>
（１）希望する移転先の地区	35
（２）居住地区別 希望する移転先の地区	37
<b>2.11 歩いてよいとする最寄駅から本庁舎までの距離（移転の場合）</b>	<b>41</b>
（１）歩いてよいとする最寄駅から本庁舎までの距離（移転の場合）	41
（２）希望する移転先の地区と歩いてよいとする最寄駅から本庁舎までの距離 （移転の場合）を組み合わせた傾向	42
<b>2.12 新しい庁舎に望む機能</b>	<b>44</b>
（１）新しい本庁舎に望む機能	44
（２）新しい本庁舎に望む機能別 本庁舎の建て替えに関する意向	45

## 参考資料

参考資料－１ 郵送アンケート調査票	参-01
参考資料－２ 広報アンケート調査票	参-12

## 1. 調査概要

### 1.1 調査の目的

この調査は、新庁舎の整備計画を策定するにあたり、円滑な計画作成に資するため、市民の意識・ニーズ等のアンケート調査を行うことを目的とする。

### 1.2 調査概要

本業務における市民意向調査は、無作為抽出により選定した対象者へ郵送により調査票を配布する調査（以下、「郵送アンケート」という）及び広報いちかわに調査票を掲載する調査（以下、「広報アンケート」という）による。

#### (1) 郵送アンケートの概要

郵送アンケートによる概要を表 1.2-1 に示す。

表 1.2-1 郵送アンケートの概要

郵送アンケート	
(1) 調査地域	市全域
(2) 調査対象	市川市内に在住する満20歳以上の男女 5,000人 (平成24年1月4日時点・住民基本台帳より無作為抽出)
(3) 調査方法	郵送により、調査票の配布および無記名で回収
(4) 調査期間	平成24年2月
(5) 有効回収数	対象者数：5,000人 (a) 有効回答数：1,903人 (b) 有効回答率：38.0% (b/a×100)

#### (2) 広報アンケートの概要

広報アンケートによる概要を表 1.2-2 に示す。

表 1.2-2 広報アンケートの概要

広報アンケート	
(1) 調査地域	市全域
(2) 調査対象	広報いちかわ（平成24年2月18日発行）の読者 (発行部数174,000部（うち新聞折込162,650部）)
(3) 調査方法	調査票を広報いちかわに掲載して配布、郵送により無記名で回収
(4) 調査期間	平成24年2月
(5) 有効回収数	有効回答数：3,357人

## 1.3 調査内容

調査の内容は、①～⑱の通りである。あわせてアンケート用紙を示す。

	郵送 アンケート	広報 アンケート
① 本庁舎の訪問経験	○	
② 本庁舎の訪問回数	○	
③ 本庁舎までの交通手段	○	
④ 本庁舎へ訪れたことがある用件	○	
⑤ 本庁舎を訪れて不便に感じたこと	○	
⑥ 耐震診断結果の認知度	○	
⑦ 本庁舎の建て替えに関する意向	○	○
⑧ 現在地を建て替えて、分散しなければならない場合の優先事項	○	○
⑨ 希望する移転先の地区	○	○
⑩ 歩いてよいとする最寄駅から本庁舎までの距離(移転の場合)	○	○
⑪ 新しい本庁舎に望む機能	○	
⑫ 性別	○	○
⑬ 年齢	○	○
⑭ 職業	○	
⑮ 市川市に居住している期間	○	
⑯ 家族構成	○	
⑰ 居住地区	○	
⑱ 自由意見	○	○

## 2. 調査結果

### 2.1 回答者属性

#### (1) 性別

回答者の性別は、郵送アンケートでは、「男性」が 41.8%、「女性」が 57.3%、広報アンケートでは「男性」が 53.5%、「女性」が 45.2%となっている。

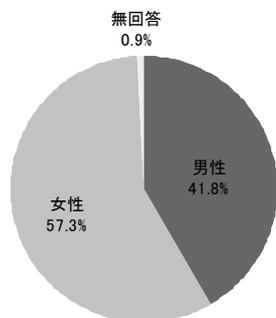


図 2.1-1 性別 (郵送アンケート)

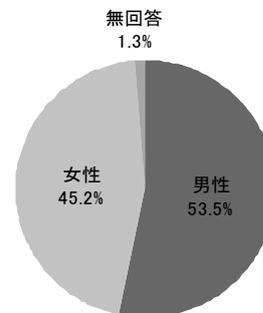


図 2.1-2 性別 (広報アンケート)

	郵送アンケート	広報アンケート
1 男性	795 (41.8%)	1,795 (53.5%)
2 女性	1,091 (57.3%)	1,518 (45.2%)
無回答	17 (0.9%)	44 (1.3%)
計	1,903 (100%)	3,357 (100.0%)

(2) 年齢

回答者の年齢層は、郵送アンケートでは、「40～49歳」が20.9%、「30～39歳」が20.1%、「60～69歳」が17.6%の順になっており、ほぼ無作為抽出を行った年齢配分どおりの構成比となった。

一方、広報アンケートでは、「60～69歳」が29.9%、「70～79歳」が26.3%と多く、年齢層の高い方からの回答が多い結果となった。

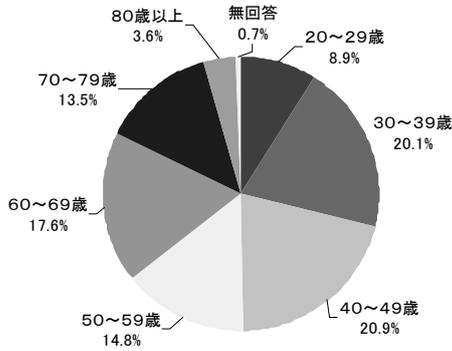


図 2.1-3 年齢（郵送アンケート）

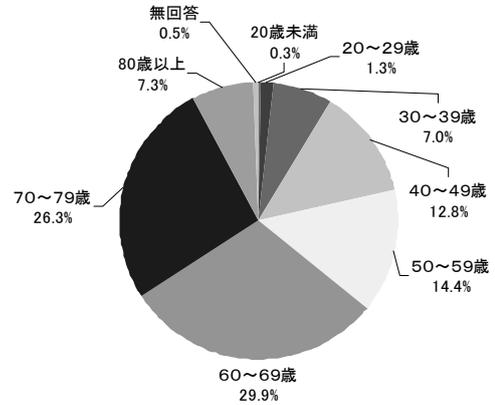


図 2.1-4 年齢（広報アンケート）

	郵送アンケート		広報アンケート	
20未満	0	(0.0%)	11	(0.3%)
20～29歳	169	(8.9%)	44	(1.3%)
30～39歳	382	(20.1%)	235	(7.0%)
40～49歳	397	(20.9%)	431	(12.8%)
50～59歳	281	(14.8%)	485	(14.4%)
60～69歳	335	(17.6%)	1,005	(29.9%)
70～79歳	257	(13.5%)	882	(26.3%)
80歳以上	69	(3.6%)	246	(7.3%)
無回答	13	(0.7%)	18	(0.5%)
計	1,903	(100.0%)	3,357	(100.0%)

(3) 職業

回答者の職業は「会社員(常勤)」が559件(29.4%)、「専業主婦」が437件(23.0%)、「無職」が275件(14.5%)、「パート、アルバイト」が263件(13.8%)の順に多くなっている。

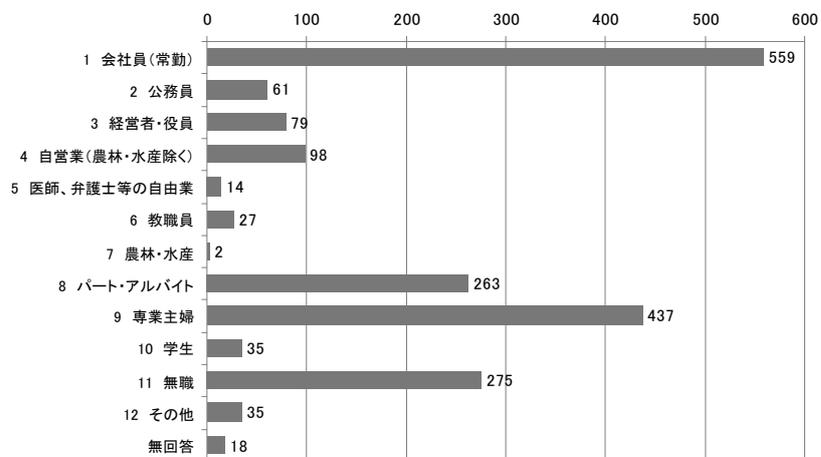


図 2.1-5 職業 (郵送アンケート)

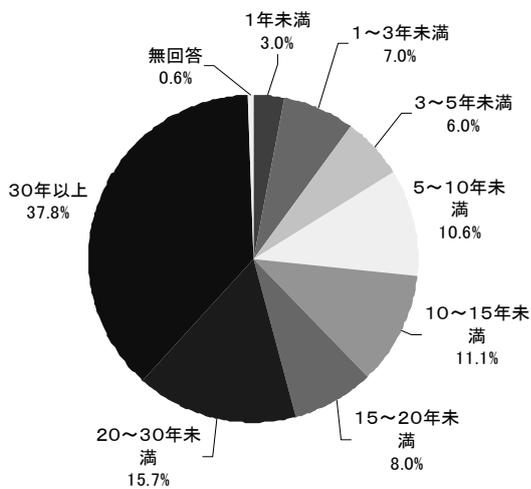
■ 郵送アンケート

会社員 (常勤)	559	(29.4%)
公務員	61	(3.2%)
経営者・役員	79	(4.2%)
自営業 (農林・水産除く)	98	(5.1%)
医師、弁護士等の自由業	14	(0.7%)
教職員	27	(1.4%)
農林・水産	2	(0.1%)

パート・アルバイト	263	(13.8%)
専業主婦	437	(23.0%)
学生	35	(1.8%)
無職	275	(14.5%)
その他	35	(1.8%)
無回答	18	(0.9%)
計	1,903	(100%)

## (4) 市川市に居住している期間

回答者の市川市に居住している期間は、「30年以上」が720件(37.8%)と最も多く、全体の70%以上が10年以上と長期間、市川市に居住している。



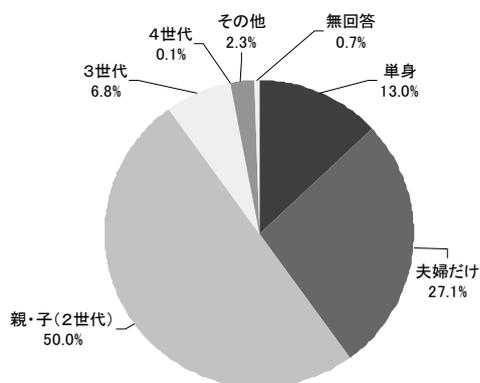
## ■ 郵送アンケート

1年未満	57	(3.0%)
1～3年未満	133	(7.0%)
3～5年未満	115	(6.0%)
5～10年未満	202	(10.6%)
10～15年未満	212	(11.1%)
15～20年未満	153	(8.0%)
20～30年未満	299	(15.7%)
30年以上	720	(37.8%)
無回答	12	(0.6%)
計	1,903	(100%)

図 2.1-6 市川市に居住している期間  
(郵送アンケート)

(5) 家族構成

回答者の家族構成は「親・子(2世代)」が50.0%と半数を占め、「夫婦だけ」が27.1%、「単身」が13.0%と続いている。



■ 郵送アンケート

単身	247	(13.0%)
夫婦だけ	516	(27.1%)
親・子(2世代)	952	(50.0%)
親・子・孫(3世代)	130	(6.8%)
親・子・孫・ひ孫(4世代)	2	(0.1%)
その他	43	(2.3%)
無回答	13	(0.7%)
総計	1,903	(100%)

図 2.1-7 家族構成 (郵送アンケート)

## (6) 居住地区

回答者の居住地区は「行政地区」235件(12.3%)、「南行徳地区」230件(12.1%)、「市川駅南地区」227件(11.9%)の順となったが、ほぼ無作為抽出を行った居住地区配分どおりの構成比となった。

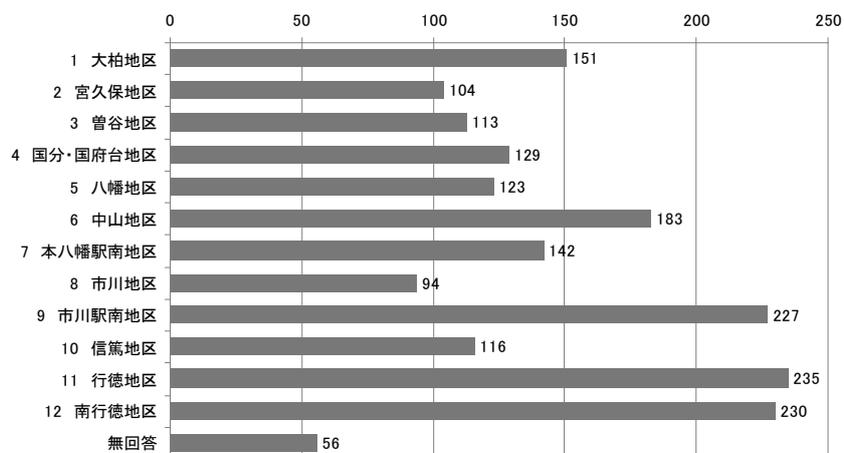


図 2.1-8 (郵送アンケート)

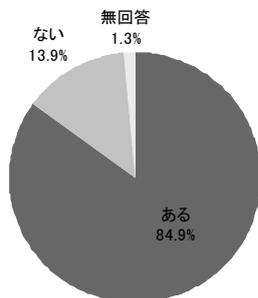
## ■ 郵送アンケート

大柏地区	151	(7.9%)	市川地区	94	(4.9%)
宮久保地区	104	(5.5%)	市川駅南地区	227	(11.9%)
曾谷地区	113	(5.9%)	信篤地区	116	(6.1%)
国分・国府台地区	129	(6.8%)	行徳地区	235	(12.3%)
八幡地区	123	(6.5%)	南行徳地区	230	(12.1%)
中山地区	183	(9.6%)	無回答	56	(2.9%)
本八幡駅南地区	142	(7.5%)	計	1,903	(100%)

## 2.2 本庁舎の訪問経験

### (1) 本庁舎の訪問経験

問1 これまでに市川市の本庁舎（八幡1丁目）を利用したことがありますか（○はひとつ）



#### ■ 郵送アンケート

ある	1,615	(84.9%)
ない	264	(13.9%)
無回答	24	(1.3%)
計	1,903	(100.0%)

図 2.2-1 本庁舎の訪問経験（郵送アンケート）

本庁舎の訪問経験は「ある」が 84.9%、「ない」が 13.9%となっており、回答者のほとんどが本庁舎を訪問したことがある。

## (2) 年齢別 本庁舎の訪問経験

年齢別に本庁舎の訪問経験を見てみると、全ての年齢で7割以上、訪問経験があり、特に50歳代、80歳代では9割弱、60歳代、70歳代でも9割台と高くなっている。

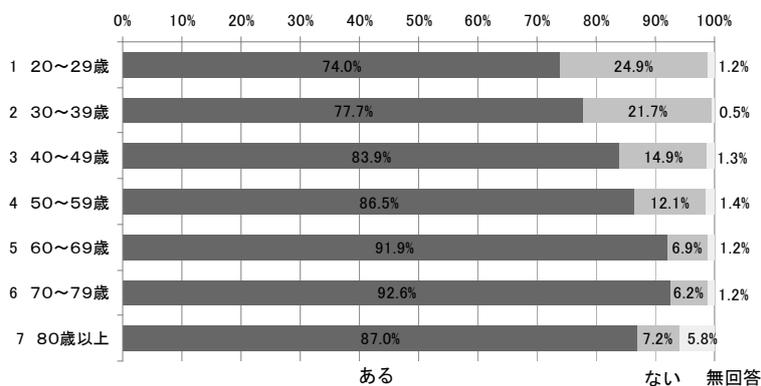


図 2.2-2 年齢別本庁舎の訪問経験（郵送アンケート）

## ■ 郵送アンケート

	本庁舎の訪問経験			計
	ある	ない	無回答	
20～29歳	125 (74.0%)	42 (24.9%)	2 (1.2%)	169
30～39歳	297 (77.7%)	83 (21.7%)	2 (0.5%)	382
40～49歳	333 (83.9%)	59 (14.9%)	5 (1.3%)	397
50～59歳	243 (86.5%)	34 (12.1%)	4 (1.4%)	281
60～69歳	308 (91.9%)	23 (6.9%)	4 (1.2%)	335
70～79歳	238 (92.6%)	16 (6.2%)	3 (1.2%)	257
80歳以上	60 (87.0%)	5 (7.2%)	4 (5.8%)	69
無回答	11 (84.6%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	13
計	1,615 (84.9%)	264 (13.9%)	24 (1.3%)	1,903

(3) 居住地区別 本庁舎の訪問経験

居住地区別に庁舎の訪問経験を見てみると、「行徳地区」と「南行徳地区」では約5割と低く、それ以外の地区では、約9割以上の回答者が本庁舎を訪問している。

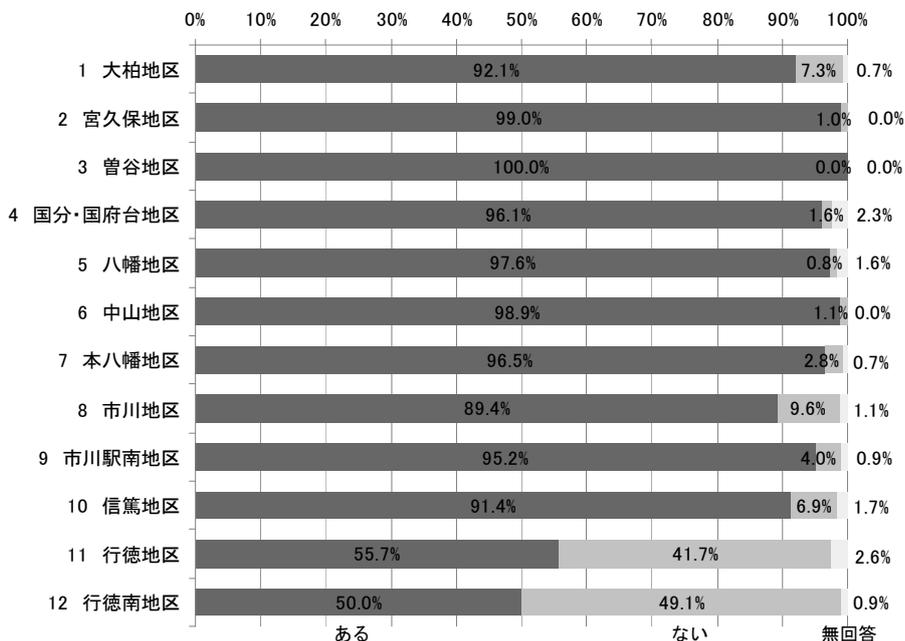


図 2.2-3 居住地区別 本庁舎の訪問経験 (郵送アンケート)

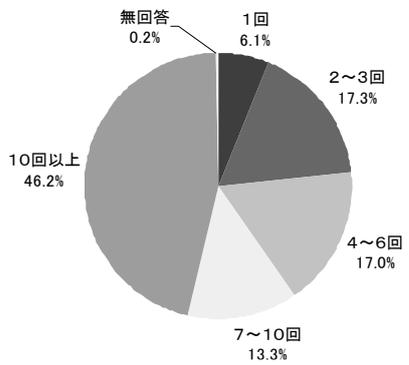
■ 郵送アンケート

	本庁舎の利用状況			
	ある	ない	無回答	計
1 大柏地区	139 (92.1%)	11 (7.3%)	1 (0.7%)	151
2 宮久保地区	103 (99.0%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	104
3 曾谷地区	113 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	113
4 国分・国府台地区	124 (96.1%)	2 (1.6%)	3 (2.3%)	129
5 八幡地区	120 (97.6%)	1 (0.8%)	2 (1.6%)	123
6 中山地区	181 (98.9%)	2 (1.1%)	0 (0.0%)	183
7 本八幡駅南地区	137 (96.5%)	4 (2.8%)	1 (0.7%)	142
8 市川地区	84 (89.4%)	9 (9.6%)	1 (1.1%)	94
9 市川駅南地区	216 (95.2%)	9 (4.0%)	2 (0.9%)	227
10 信篤地区	106 (91.4%)	8 (6.9%)	2 (1.7%)	116
11 行徳地区	131 (55.7%)	98 (41.7%)	6 (2.6%)	235
12 南行徳地区	115 (50.0%)	113 (49.1%)	2 (0.9%)	230
無回答	46 (82.1%)	6 (10.7%)	4 (7.1%)	56
計	1,615 (84.9%)	264 (13.9%)	24 (1.3%)	1,903

## 2.3 本庁舎の訪問回数

### (1) 本庁舎の訪問回数

問2 過去に何回ほど本庁舎に訪れましたか（問1で「ある」と答えた場合、○はひとつ）



#### ■ 郵送アンケート

1回	98	(6.1%)
2～3回	279	(17.3%)
4～6回	274	(17.0%)
7～10回	215	(13.3%)
10回以上	746	(46.2%)
無回答	3	(0.2%)
計	1,615	(100.0%)

図 2.3-1 本庁舎の訪問回数（郵送アンケート）

本庁舎の訪問回数は「10回以上」が46.2%で、「2～3回」が17.3%、「4～6回」が17.0%、「7～10回」が13.3%、「1回」が6.1%となっている。

(2) 年齢別 本庁舎の訪問回数

年齢別に本庁舎の訪問回数を見ると、「10回以上」は20歳代、30歳代で2割台、40歳代、50歳代で4割台、60歳代、70歳代で5割台、80歳代以上で6割台となり、年齢が高くなるほど、本庁舎の訪問が多くなっている。

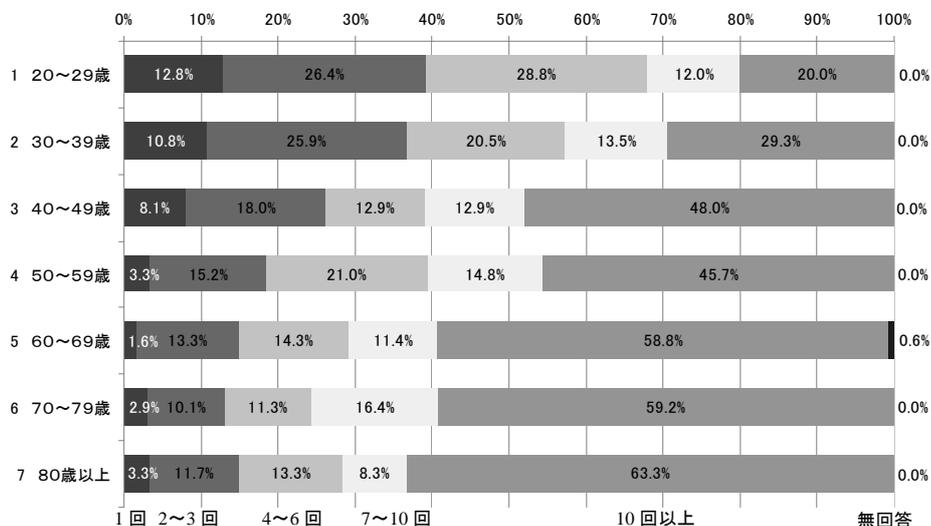


図 2.3-2 年齢別 本庁舎の訪問回数 (郵送アンケート)

■ 郵送アンケート

	本庁舎の訪問回数						計
	1回	2~3回	4~6回	7~10回	10回以上	無回答	
20~29歳	16 (12.8%)	33 (26.4%)	36 (28.8%)	15 (12.0%)	25 (20.0%)	0 (0.0%)	125
30~39歳	32 (10.8%)	77 (25.9%)	61 (20.5%)	40 (13.5%)	87 (29.3%)	0 (0.0%)	297
40~49歳	27 (8.1%)	60 (18.0%)	43 (12.9%)	43 (12.9%)	160 (48.0%)	0 (0.0%)	333
50~59歳	8 (3.3%)	37 (15.2%)	51 (21.0%)	36 (14.8%)	111 (45.7%)	0 (0.0%)	243
60~69歳	5 (1.6%)	41 (13.3%)	44 (14.3%)	35 (11.4%)	181 (58.8%)	2 (0.6%)	308
70~79歳	7 (2.9%)	24 (10.1%)	27 (11.3%)	39 (16.4%)	141 (59.2%)	0 (0.0%)	238
80歳以上	2 (3.3%)	7 (11.7%)	8 (13.3%)	5 (8.3%)	38 (63.3%)	0 (0.0%)	60
無回答	1 (9.1%)	0 (0.0%)	4 (36.4%)	2 (18.2%)	3 (27.3%)	1 (9.1%)	11
計	98 (6.1%)	279 (17.3%)	274 (17.0%)	215 (13.3%)	746 (46.2%)	3 (0.2%)	1,615

(3) 居住地区別 本庁舎の訪問回数

居住地区別に本庁舎の訪問回数を見ると、「信篤地区」「行徳地区」「南行徳地区」を除く地区では、半数程度の回答者が「10回以上」、本庁舎を訪問しているとし、一方、「行徳地区」と「南行徳地区」では、半数程度の回答者が、訪問回数を「2～3回」以下と回答している。

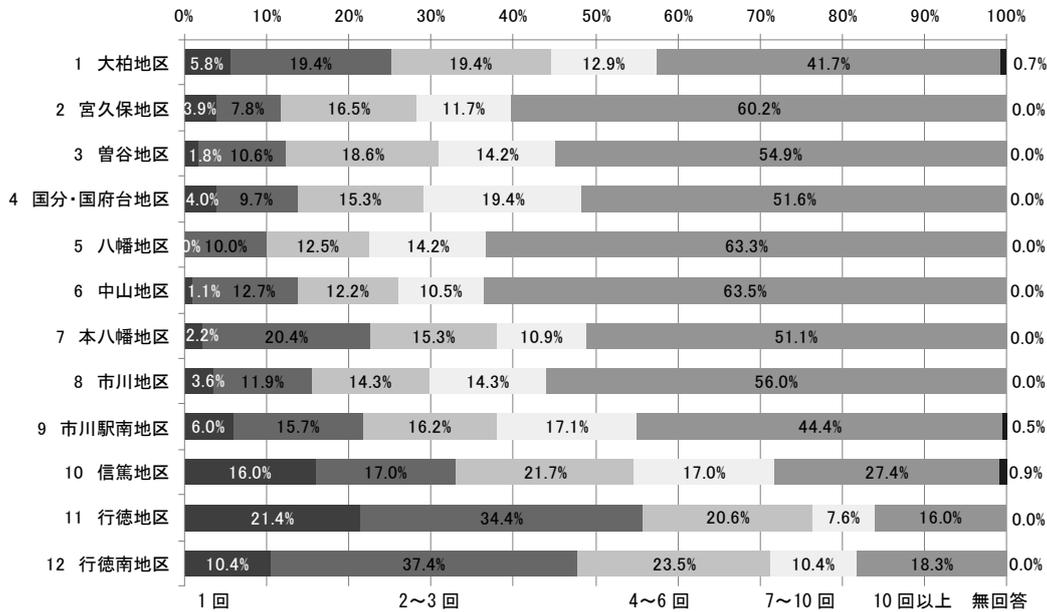


図 2.3-3 居住地区別 本庁舎の訪問回数 (郵送アンケート)

■ 郵送アンケート

	本庁舎の訪問回数						計
	1回	2~3回	4~6回	7~10回	10回以上	無回答	
1 大柏地区	8 (5.8%)	27 (19.4%)	27 (19.4%)	18 (12.9%)	58 (41.7%)	1 (0.7%)	139
2 宮久保地区	4 (3.9%)	8 (7.8%)	17 (16.5%)	12 (11.7%)	62 (60.2%)	0 (0.0%)	103
3 曾谷地区	2 (1.8%)	12 (10.6%)	21 (18.6%)	16 (14.2%)	62 (54.9%)	0 (0.0%)	113
4 国分・国府台地区	5 (4.0%)	12 (9.7%)	19 (15.3%)	24 (19.4%)	64 (51.6%)	0 (0.0%)	124
5 八幡地区	0 (0.0%)	12 (10.0%)	15 (12.5%)	17 (14.2%)	76 (63.3%)	0 (0.0%)	120
6 中山地区	2 (1.1%)	23 (12.7%)	22 (12.2%)	19 (10.5%)	115 (63.5%)	0 (0.0%)	181
7 本八幡駅南地区	3 (2.2%)	28 (20.4%)	21 (15.3%)	15 (10.9%)	70 (51.1%)	0 (0.0%)	137
8 市川地区	3 (3.6%)	10 (11.9%)	12 (14.3%)	12 (14.3%)	47 (56.0%)	0 (0.0%)	84
9 市川駅南地区	13 (6.0%)	34 (15.7%)	35 (16.2%)	37 (17.1%)	96 (44.4%)	1 (0.5%)	216
10 信篤地区	17 (16.0%)	18 (17.0%)	23 (21.7%)	18 (17.0%)	29 (27.4%)	1 (0.9%)	106
11 行徳地区	28 (21.4%)	45 (34.4%)	27 (20.6%)	10 (7.6%)	21 (16.0%)	0 (0.0%)	131
12 南行徳地区	12 (10.4%)	43 (37.4%)	27 (23.5%)	12 (10.4%)	21 (18.3%)	0 (0.0%)	115
無回答	1 (2.2%)	7 (15.2%)	8 (17.4%)	5 (10.9%)	25 (54.3%)	0 (0.0%)	46
計	98 (6.1%)	279 (17.3%)	274 (17.0%)	215 (13.3%)	746 (46.2%)	3 (0.2%)	1,615

## 2.4 本庁舎までの交通手段

### (1) 本庁舎までの交通手段

問3 主にどのような交通手段で本庁舎に訪れましたか（問1で「ある」と答えた場合、○はひとつ）

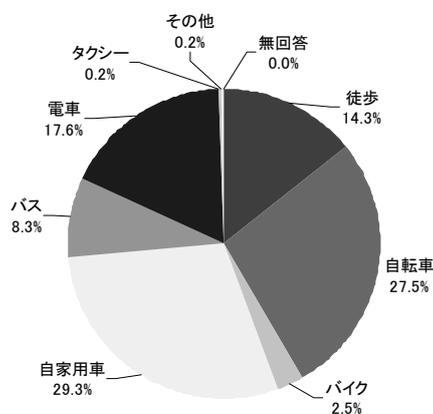


図 2.4-1 本庁舎までの交通手段  
(郵送アンケート)

#### ■ 郵送アンケート

1 徒歩	231	(14.3%)
2 自転車	444	(27.5%)
3 バイク	41	(2.5%)
4 自家用車	473	(29.3%)
5 バス	134	(8.3%)
6 電車	284	(17.6%)
7 タクシー	4	(0.2%)
8 その他	4	(0.2%)
無回答	0	(0.0%)
計	1,615	(100.0%)

現在の本庁舎までの交通手段は、「自家用車」が29.3%、「自転車」が27.5%、「電車」が17.6%、「徒歩」が14.3%、「バス」が8.2%、「バイク」が2.5%の順に多いものとなっている。

このことから、全体の約4割が、「自転車」または「徒歩」と、「車」や「公共交通機関」を使用せずに本庁舎を訪れていることとなり、また、「自家用車」の利用と、「電車」と「バス」をあわせた公共交通機関の利用は、ほぼ同程度の3割弱となっている。

## (2) 年齢別 本庁舎までの交通手段

年齢別に本庁舎への交通手段を見ると、「自家用車」の利用については「30歳代」「40歳代」について、全体より高い傾向があり、また「バス」の利用については「60歳代」「70歳代」「80歳代」において、全体よりも高い傾向がある。その他の交通手段については、年齢による大きな傾向の違いはないといえる

## ■郵送アンケート

	1 20～29歳	2 30～39歳	3 40～49歳	4 50～59歳
1 徒歩	22 (17.6%)	52 (17.5%)	41 (12.3%)	32 (13.2%)
2 自転車	37 (29.6%)	79 (26.6%)	88 (26.4%)	55 (22.6%)
3 バイク	3 (2.4%)	3 (1.0%)	8 (2.4%)	8 (3.3%)
4 自家用車	32 (25.6%)	106 (35.7%)	138 (41.4%)	75 (30.9%)
5 バス	4 (3.2%)	8 (2.7%)	12 (3.6%)	22 (9.1%)
6 電車	26 (20.8%)	49 (16.5%)	45 (13.5%)	51 (21.0%)
7 タクシー	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
8 その他	1 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)	0 (0.0%)
計	125 (100.0%)	297 (100.0%)	333 (100.0%)	243 (100.0%)

	5 60～69歳	6 70～79歳	7 80歳以上	無回答	計
1 徒歩	37 (12.0%)	35 (14.7%)	11 (18.3%)	1 (9.1%)	231 (14.3%)
2 自転車	87 (28.2%)	81 (34.0%)	14 (23.3%)	3 (27.3%)	444 (27.5%)
3 バイク	14 (4.5%)	5 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	41 (2.5%)
4 自家用車	76 (24.7%)	38 (16.0%)	6 (10.0%)	2 (18.2%)	473 (29.3%)
5 バス	38 (12.3%)	33 (13.9%)	13 (21.7%)	4 (36.4%)	134 (8.3%)
6 電車	52 (16.9%)	45 (18.9%)	15 (25.0%)	1 (9.1%)	284 (17.6%)
7 タクシー	2 (0.6%)	1 (0.4%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	4 (0.2%)
8 その他	2 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.2%)
計	308 (100.0%)	238 (100.0%)	60 (100.0%)	11 (100.0%)	1,615 (0.0%)

(3) 居住地区別 本庁舎までの交通手段

居住地区別に本庁舎までの交通手段を見ると、

市域北部の「大柏地区」「国分・国府台地区」は、本庁舎から遠く、また八幡まで直通の電車もないことなどから「自家用車」の利用が多く、全体の半数程度を占める。

「宮久保地区」「曾谷地区」は、本庁舎のある中山地区に隣接するため「自転車」の利用が多いが、次いで「自家用車」の利用も約3割と多くなっている。

本庁舎周辺地域である「八幡地区」「中山地区」「本八幡駅南地区」は「徒歩」または「自転車」の利用が多く、あわせて7割以上を占めている。

「市川地区」は、JR線または京成線が東西を通過しているため、本庁舎へは「電車」の利用が約4割と多く、「市川駅南地区」は、「自転車」「自家用車」「電車」がそれぞれ2～3割とまんべんなく利用されている。

「信徳地区」「行徳地区」「南行徳地区」は、本庁舎の南側に位置し、地理的に離れることから「自動車」の利用が約4割と最も多いが、東西線またはバスも利用できることから「電車」または「バス」が約3割と次いで多くなっている。

1 大柏地区

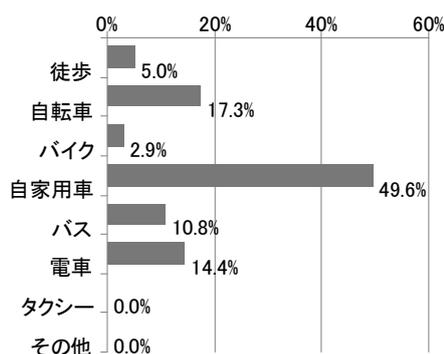


図 2.4-2 本庁舎までの交通手段（大柏地区）

2 宮久保地区

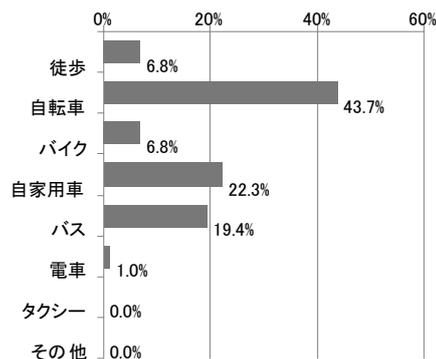


図 2.4-3 本庁舎までの交通手段（宮久保地区）

3 曾谷地区

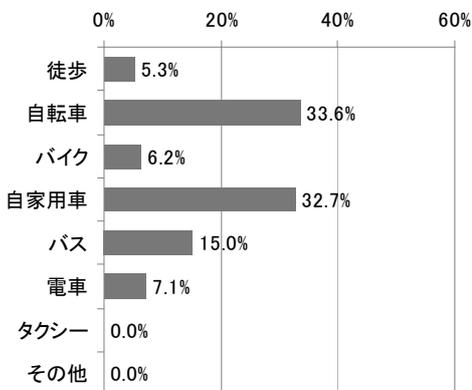


図 2.4-2 本庁舎までの交通手段（曾谷地区）

4 国分・国府台地区

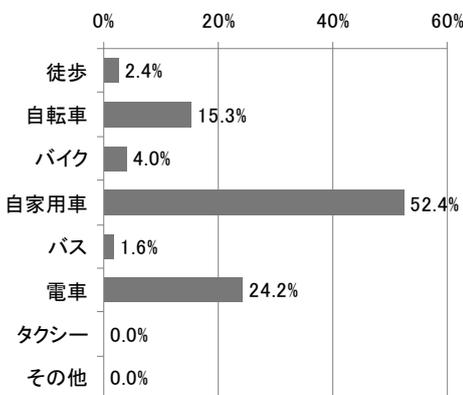


図 2.4-3 本庁舎までの交通手段（国分・国府台地区）

5 八幡地区

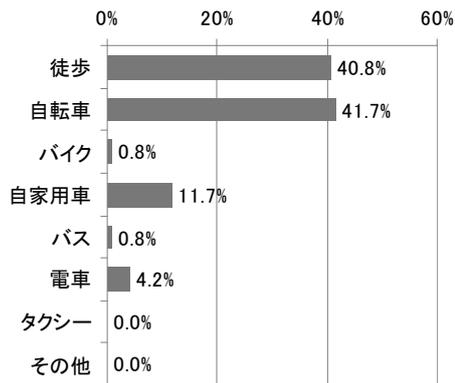


図 2.4-2 本庁舎までの交通手段（八幡地区）

6 中山地区

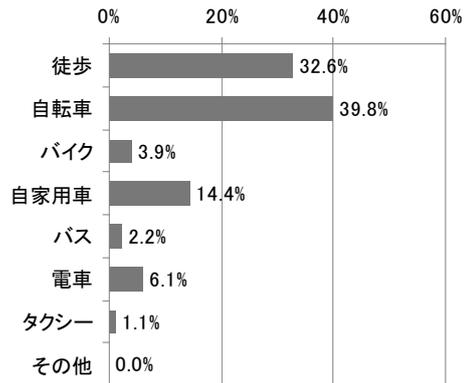


図 2.4-3 本庁舎までの交通手段（中山地区）

7 本八幡駅南地区

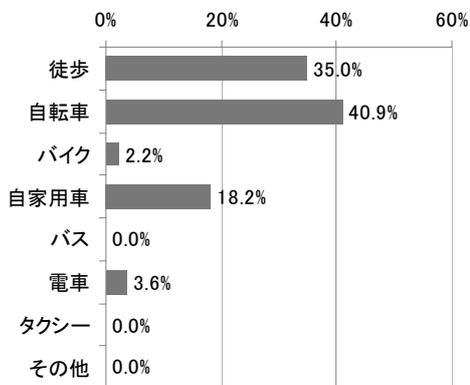


図 2.4-2 本庁舎までの交通手段（本八幡駅南地区）

8 市川地区

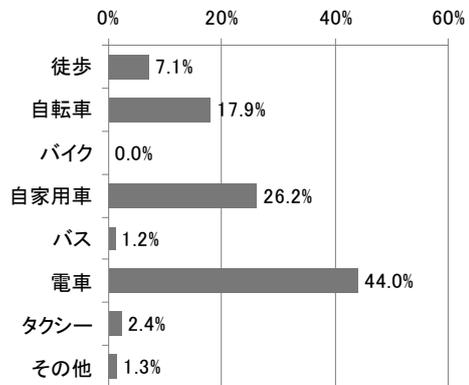


図 2.4-3 本庁舎までの交通手段（市川地区）

9 市川駅南地区

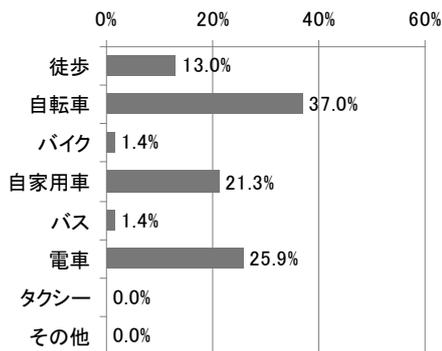


図 2.4-2 本庁舎までの交通手段（市川駅南地区）

10 信篤地区

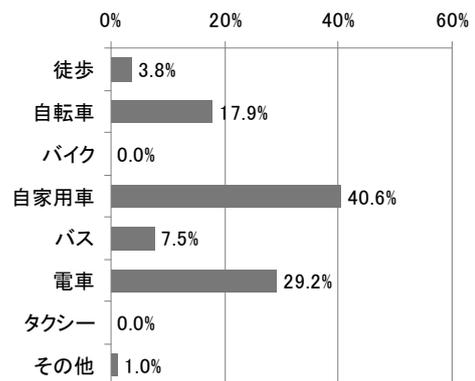
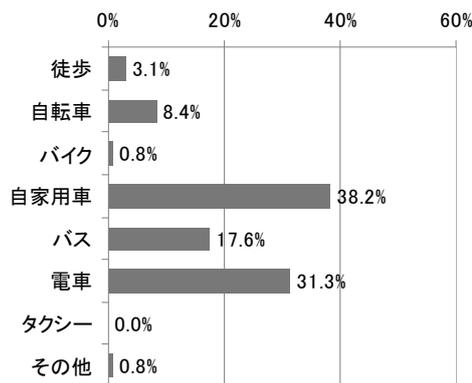


図 2.4-3 本庁舎までの交通手段（信篤地区）

11 行徳地区



12 南行徳地区

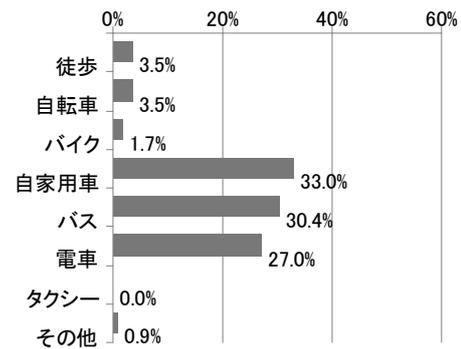


図 2.4-2 本庁舎までの交通手段（行徳地区）

図 2.4-3 本庁舎までの交通手段（南行徳地区）

■ 郵送アンケート

	居住地区									
	1 大柏地区		2 宮久保地区		3 曾谷地区		4 国分・国府台地区		5 八幡地区	
徒歩	7	(5.0%)	7	(6.8%)	6	(5.3%)	3	(2.4%)	49	(40.8%)
自転車	24	(17.3%)	45	(43.7%)	38	(33.6%)	19	(15.3%)	50	(41.7%)
バイク	4	(2.9%)	7	(6.8%)	7	(6.2%)	5	(4.0%)	1	(0.8%)
自家用車	69	(49.6%)	23	(22.3%)	37	(32.7%)	65	(52.4%)	14	(11.7%)
バス	15	(10.8%)	20	(19.4%)	17	(15.0%)	2	(1.6%)	1	(0.8%)
電車	20	(14.4%)	1	(1.0%)	8	(7.1%)	30	(24.2%)	5	(4.2%)
タクシー	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
計	139	(100.0%)	103	(100.0%)	113	(100.0%)	124	(100.0%)	120	(100.0%)

	6 中山地区	7 本八幡駅南地区	8 市川地区	9 市川駅南地区	10 信篤地区					
徒歩	59	(32.6%)	48	(35.0%)	6	(7.1%)	28	(13.0%)	4	(3.8%)
自転車	72	(39.8%)	56	(40.9%)	15	(17.9%)	80	(37.0%)	19	(17.9%)
バイク	7	(3.9%)	3	(2.2%)	0	(0.0%)	3	(1.4%)	0	(0.0%)
自家用車	26	(14.4%)	25	(18.2%)	22	(26.2%)	46	(21.3%)	43	(40.6%)
バス	4	(2.2%)	0	(0.0%)	1	(1.2%)	3	(1.4%)	8	(7.5%)
電車	11	(6.1%)	5	(3.6%)	37	(44.0%)	56	(25.9%)	31	(29.2%)
タクシー	2	(1.1%)	0	(0.0%)	2	(2.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.3%)	0	(0.0%)	1	(1.0%)
計	181	(100.0%)	137	(100.0%)	84	(100.0%)	216	(100.0%)	106	(100.0%)

	11 行徳地区	12 南行徳地区	無回答	計			
徒歩	4	(3.1%)	4	(3.5%)	6	(13.0%)	66
自転車	11	(8.4%)	4	(3.5%)	11	(23.9%)	166
バイク	1	(0.8%)	2	(1.7%)	1	(2.2%)	11
自家用車	50	(38.2%)	38	(33.0%)	15	(32.6%)	317
バス	23	(17.6%)	35	(30.4%)	5	(10.9%)	138
電車	41	(31.3%)	31	(27.0%)	8	(17.4%)	284
タクシー	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2
その他	1	(0.8%)	1	(0.9%)	0	(0.0%)	6
計	131	(100.0%)	115	(100.0%)	46	(100.0%)	1,615

## 2.5 本庁舎へ訪れたことがある用件

### (1) 本庁舎へ訪れたことがある用件

問4 主にどのような要件で本庁舎に訪れましたか（問1で「ある」と答えた場合、○は3つまで）

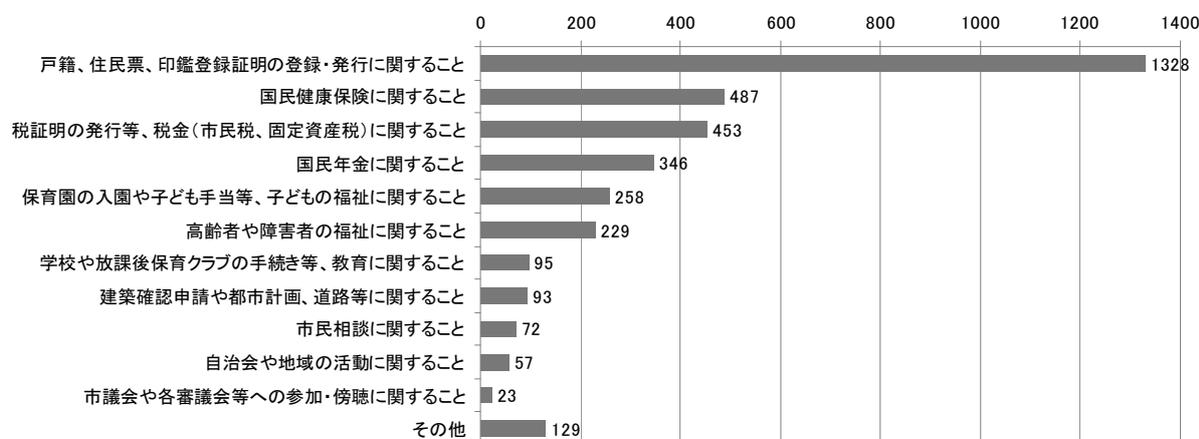


図 2.5-1 本庁舎へ訪れたことがある用件（郵送アンケート）

#### ■ 郵送アンケート

戸籍、住民票、印鑑登録証明の登録・発行に関すること	1,328	(82.2%)
国民健康保険に関すること	487	(30.2%)
税証明の発行等、税金（市民税、固定資産税）に関すること	453	(28.0%)
国民年金に関すること	346	(21.4%)
保育園の入園や子ども手当等、子どもの福祉に関すること	258	(16.0%)
高齢者や障害者の福祉に関すること	229	(14.2%)
学校や放課後保育クラブの手続き等、教育に関すること	95	(5.9%)
建築確認申請や都市計画、道路等に関すること	93	(5.8%)
市民相談に関すること	72	(4.5%)
自治会や地域の活動に関すること	57	(3.5%)
市議会や各審議会等への参加・傍聴に関すること	23	(1.4%)
その他	129	(8.0%)
計	3,570	(221.1%)

本庁舎へ訪れた用件は、「戸籍、住民票、印鑑登録証明の登録・発行に関すること」が82.2%で最も多く、「国民健康保険に関すること」が30.2%、「税証明の発行等、税金(市民税、固定資産税)に関すること」が28.0%と続いている。

その他のものでは「国民年金に関すること」が21.4%、「保育園の入園や子ども手当等、子どもの福祉に関すること」16.0%が多い要件となっている。

市川市庁舎整備に関する市民意向調査業務委託

(2) 年齢別 本庁舎へ訪れたことがある用件

年齢別に本庁舎への訪れたことがある用件を見ると、「戸籍、住民票、印鑑登録証明の登録・発行に関すること」は、すべての年齢区分においてまんべんなく多いが、高齢者であれば「国民健康保険に関すること」「国民年金に関すること」「高齢者や障害者の福祉に関すること」、子育て世代である40歳代以下では、「保育園の入園や子ども手当等、子どもの福祉に関すること」「学校や放課後保育クラブの手続き等、教育に関すること」が、他の年齢層よりも多く、サービスの対象にそった構成になっている。

■郵送アンケート

	庁舎へ訪れたことがある用件						
	戸籍、住民票、印鑑登録証明の登録・発行に関すること	国民健康保険に関すること	国民年金に関すること	税証明の発行等、税金（市民税、固定資産税）に関すること	保育園の入園や子ども手当等、子どもの福祉に関すること	高齢者や障害者の福祉に関すること	学校や放課後保育クラブの手続き等、教育に関すること
20～29歳	103	35	33	16	15	7	5
30～39歳	251	72	51	55	96	21	19
40～49歳	280	57	51	84	111	28	44
50～59歳	196	59	50	94	23	38	16
60～69歳	248	131	79	108	10	55	10
70～79歳	193	110	70	72	3	52	1
80歳以上	49	19	9	21	0	25	0
無回答	8	4	3	3	0	3	0
計	1,328	487	346	453	258	229	95

	庁舎へ訪れたことがある用件					
	建築確認申請や都市計画、道路等に関すること	市民相談に関すること	自治会や地域の活動に関すること	市議会や各審議会等への参加・傍聴に関すること	その他	計
20～29歳	1	1	1	0	11	228
30～39歳	8	6	1	0	23	603
40～49歳	16	18	14	1	28	732
50～59歳	16	8	12	4	26	542
60～69歳	27	19	11	8	17	723
70～79歳	20	17	14	9	18	579
80歳以上	4	2	3	1	5	138
無回答	1	1	1	0	1	25
計	93	72	57	23	129	3,570

## (3) 居住地区別 本庁舎へ訪れたことがある用件

居住地区別に本庁舎へ訪れたことはある用件を見ると、支所等で受けることができるサービスについては、本庁舎から遠い地域では利用が少なくなるが、「学校や放課後保育クラブの手続き等、教育に関すること」「建築確認申請や都市計画、道路等に関すること」「市民相談に関すること」「自治会や地域の活動に関すること」など本庁舎にしかない機能については、やはり「行徳地区」「南行徳地区」であっても他の地域と同程度の利用となっている。

## ■ 郵送アンケート

	本庁舎へ訪れたことがある用件						
	戸籍、住民票、印鑑登録証明の登録・発行に関すること	国民健康保険に関すること	国民年金に関すること	税証明の発行等、税金（市民税、固定資産税）に関すること	保育園の入園や子ども手当等、子どもの福祉に関すること	高齢者や障害者の福祉に関すること	学校や放課後保育クラブの手続き等、教育に関すること
1 大柏地区	90	35	32	41	22	19	6
2 宮久保地区	98	39	28	35	12	15	2
3 曾谷地区	103	43	31	33	22	14	7
4 国分・国府台地区	103	37	33	36	24	33	7
5 八幡地区	116	40	28	33	22	14	10
6 中山地区	177	59	42	60	23	29	5
7 本八幡地区	126	42	21	44	23	15	5
8 市川地区	79	31	25	13	11	14	6
9 市川駅南地区	196	67	46	62	35	19	11
10 信篤地区	88	34	21	27	17	9	4
11 行徳地区	54	16	13	30	24	19	22
12 行徳南地区	58	23	12	27	18	21	10
無回答	40	21	14	12	5	8	0
計	1,328	487	346	453	258	229	95

	本庁舎へ訪れたことがある用件					計
	建築確認申請や都市計画、道路等に関すること	市民相談に関すること	自治会や地域の活動に関すること	市議会や各審議会等への参加・傍聴に関すること	その他	
1 大柏地区	16	10	8	2	15	296
2 宮久保地区	2	5	2	1	12	251
3 曾谷地区	3	4	2	0	3	265
4 国分・国府台地区	11	5	9	4	5	307
5 八幡地区	8	1	4	1	6	283
6 中山地区	10	6	3	2	16	432
7 本八幡地区	5	3	3	0	12	299
8 市川地区	5	8	3	2	4	201
9 市川駅南地区	12	8	5	5	13	479
10 信篤地区	1	3	1	3	5	213
11 行徳地区	12	9	7	2	18	226
12 行徳南地区	5	9	8	0	20	211
無回答	3	1	2	1	0	107
計	93	72	57	23	129	3,570

## 2.6 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

### (1) 本庁舎を訪れて不便に感じたこと

問5 本庁舎を訪れて、主にどのようなことを不便に感じましたか

(問1で「ある」と答えた場合、○は3つまで)

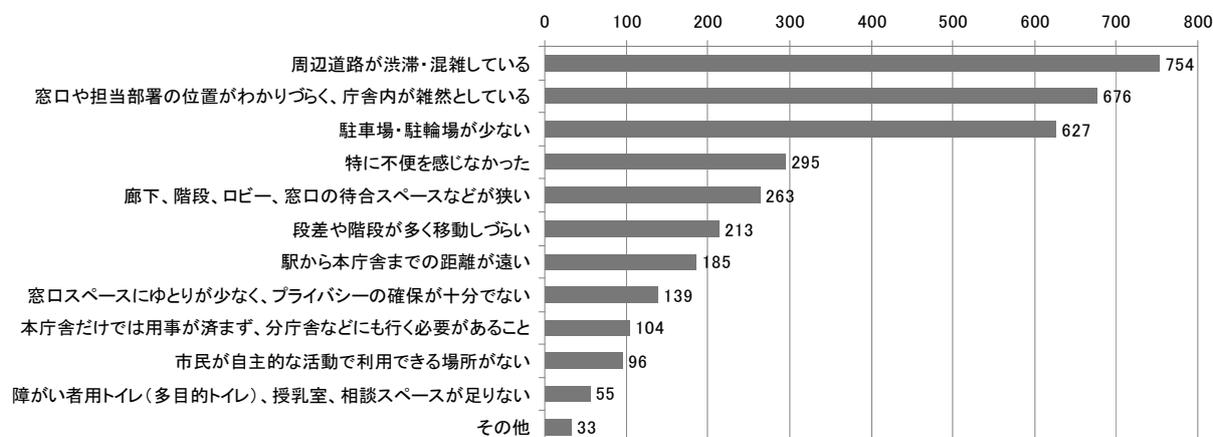


図 2.6-1 本庁舎を訪れて不便に感じたこと (郵送アンケート)

本庁舎を訪れて不便に感じたことでは、「周辺道路が渋滞・混雑している」が46.7%、「駐車場・駐輪場が少ない」が38.8%と車利用に関するものが、それぞれ4割程度と多くの回答者が不便に感じている。

また、「窓口や担当部署の位置がわかりづらく、庁舎内が雑然としている」が41.9%と、同様に4割程度、「廊下、階段、ロビー、窓口の待合スペースなどが狭い」が16.3%、「段差や階段が多く移動しづらい」が13.2%と次いで多くなっており、本庁舎内の窓口利用に関する不便さが目立っている。

逆に、「特に不便を感じなかった」が18.3%と4番目に多く、特に不便を感じていない回答者も少なからずいる。

#### ■ 郵送アンケート

周辺道路が渋滞・混雑している	754	(46.7%)
窓口や担当部署の位置がわかりづらく、庁舎内が雑然としている	676	(41.9%)
駐車場・駐輪場が少ない	627	(38.8%)
特に不便を感じなかった	295	(18.3%)
廊下、階段、ロビー、窓口の待合スペースなどが狭い	263	(16.3%)
段差や階段が多く移動しづらい	213	(13.2%)
駅から本庁舎までの距離が遠い	185	(11.5%)
窓口スペースにゆとりが少なく、プライバシーの確保が十分でない	139	(8.6%)
本庁舎だけでは用事が済まず、分庁舎などにも行く必要があること	104	(6.4%)
市民が自主的な活動で利用できる場所がない	96	(5.9%)
障がい者用トイレ(多目的トイレ)、授乳室、相談スペースが足りない	55	(3.4%)
その他	33	(2.0%)
計	3,440	(213.0%)

## 2.7 耐震診断結果の認知度

### (1) 耐震診断結果の認知度

問 6 第1・第2庁舎については、これまでの診断結果により耐震基準を満たしていない状況となっているため、震度6強程度以上の大地震に遭遇すると倒壊もしくは崩壊する危険性が高いといわれています。

このことについては、平成22年11月の広報・ホームページなどで報告をしまいましたが、ご存じでしたか。(〇はひとつ)

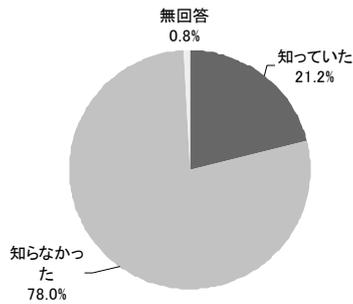


図 2.7-1 耐震診断結果の認知度  
(郵送アンケート)

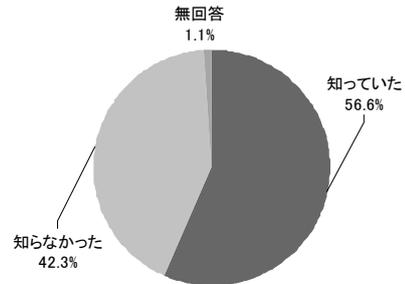


図 2.7-2 耐震診断結果の認知度  
(広報アンケート)

本庁舎の耐震診断結果の認知度は、郵送アンケートでは「知っていた」が21.2%となった。

これに対し、広報アンケートでは「知っていた」56.6%と、約3倍弱の回答者が認知している結果となり、広報紙により積極的に回答いただいた方々は、日ごろから、市政への関心の高さがうかがえる。

	郵送アンケート		広報アンケート	
知っていた	403	(21.2%)	1,900	(56.6%)
知らなかった	1,485	(78.0%)	1,421	(42.3%)
無回答	15	(0.8%)	36	(1.1%)
計	1,903	(100.0%)	3,357	(100.0%)

(2) 年齢別 耐震診断結果の認知度

年齢別に耐震診断結果の認知度を見ると、年齢層が低くなるほど認知度が低く、20歳代ではほとんど認知されていないといえる。

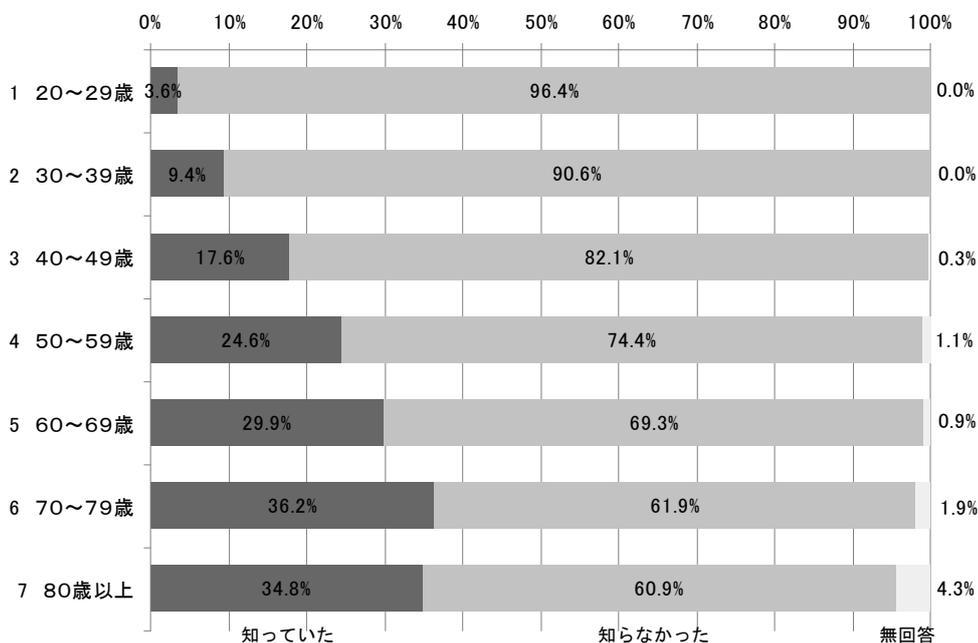


図 2.7-3 年齢別 耐震診断結果の認知度 (郵送アンケート)

■ 郵送アンケート

	耐震診断結果の認知度			
	知っていた	知らなかった	無回答	計
20～29歳	6 (3.6%)	163 (96.4%)	0 (0.0%)	169
30～39歳	36 (9.4%)	346 (90.6%)	0 (0.0%)	382
40～49歳	70 (17.6%)	326 (82.1%)	1 (0.3%)	397
50～59歳	69 (24.6%)	209 (74.4%)	3 (1.1%)	281
60～69歳	100 (29.9%)	232 (69.3%)	3 (0.9%)	335
70～79歳	93 (36.2%)	159 (61.9%)	5 (1.9%)	257
80歳以上	24 (34.8%)	42 (60.9%)	3 (4.3%)	69
無回答	5 (38.5%)	8 (61.5%)	0 (0.0%)	13
計	403 (21.2%)	1,485 (78.0%)	15 (0.8%)	1,903

## 2.8 本庁舎の建て替えに関する意向

### (1) 本庁舎の建て替えに関する意向

問 7 そこで、庁舎の安全性を確保していくため、今後の本庁舎の建て替えをどのように進めるべきだと思われますか。(〇はひとつ)

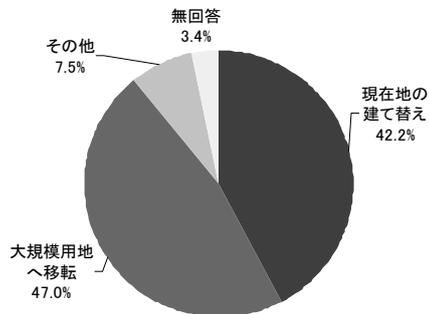


図 2.8-1 本庁舎の建て替えに関する意向  
(郵送アンケート)

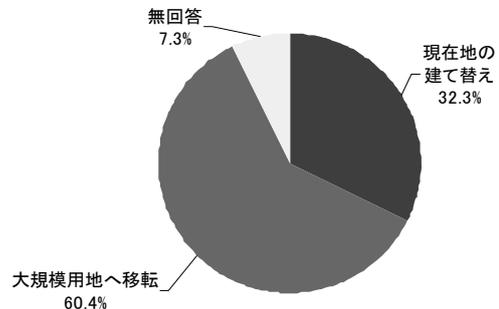


図 2.8-2 本庁舎の建て替えに関する意向  
(広報アンケート)

本庁舎の建て替えに関する意向は、郵送アンケートでは、「現在の本庁舎を建て替え、一部は分散する」が 42.2%、「大規模用地へ移転して建て替え」が 47.0%とどちらとも 4 割台であり大きな開きがなかった。

これに対し、広報アンケートでは、「現在の本庁舎を建て替え、一部は分散する」が 32.3%、「大規模用地へ移転して建て替え」が 60.4%と、「大規模用地へ移転して建て替え」が 2 倍弱多い結果となった。

	郵送アンケート		広報アンケート	
現在の本庁舎を建て替え、一部は分散する	803	(42.2%)	1,084	(32.3%)
大規模用地へ移転して建て替え	894	(47.0%)	2,027	(60.4%)
その他	142	(7.5%)	—	—
無回答	64	(3.4%)	246	(7.3%)
計	1,903	(100%)	3,357	(100.0%)

なお、郵送アンケートの「その他」意見の内訳は以下のとおり

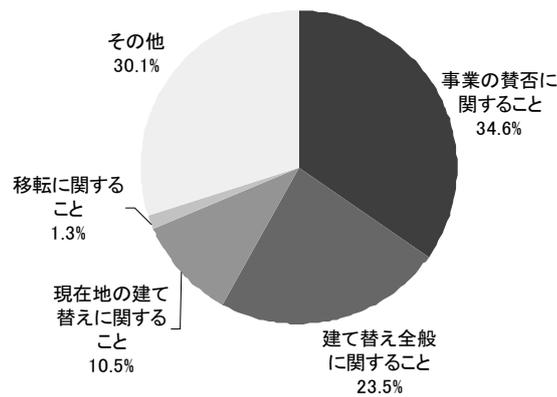


図 2.8-3 本庁舎の建て替えに関する意向 その他（自由記載）の内訳（郵送アンケート）

■ 郵送アンケート

事業の賛否に関すること	建て替えは不要	23
	耐震補強で対応すべき	13
	現時点では判断できない	10
	建て替えの前に他の事業を優先すべき	4
	どちらでもよい・どちらともいえない	5
建て替え全般に関すること	支所や出先機関の機能を拡充して整備すべき	13
	庁舎機能の縮小、人員削減をして整備すべき	10
	コストをできる限り削減して整備すべき	10
	I Tを活用すべき	3
現在地の建て替えに関すること	分散させずに現在地に縮小して建て替え	10
	現在地の建て替えを希望	6
移転に関すること	バス路線を整備して移転する	1
	駅から近くに移転する	1
その他	その他	6
	記入なし	38
計		*153

※郵送アンケート「その他」142件の意見から、記載されている内容を集計した件数  
(1件につき複数の内容を含むものを含む)

(2) 年齢別 本庁舎の建て替えに関する意向

年齢別に本庁舎建て替えに関する意向を見ると、年齢によって「現在地の建て替え」「大規模用地へ移転」の比率に大きな差異はなく、全体の傾向とほぼ同じ比率となっている。

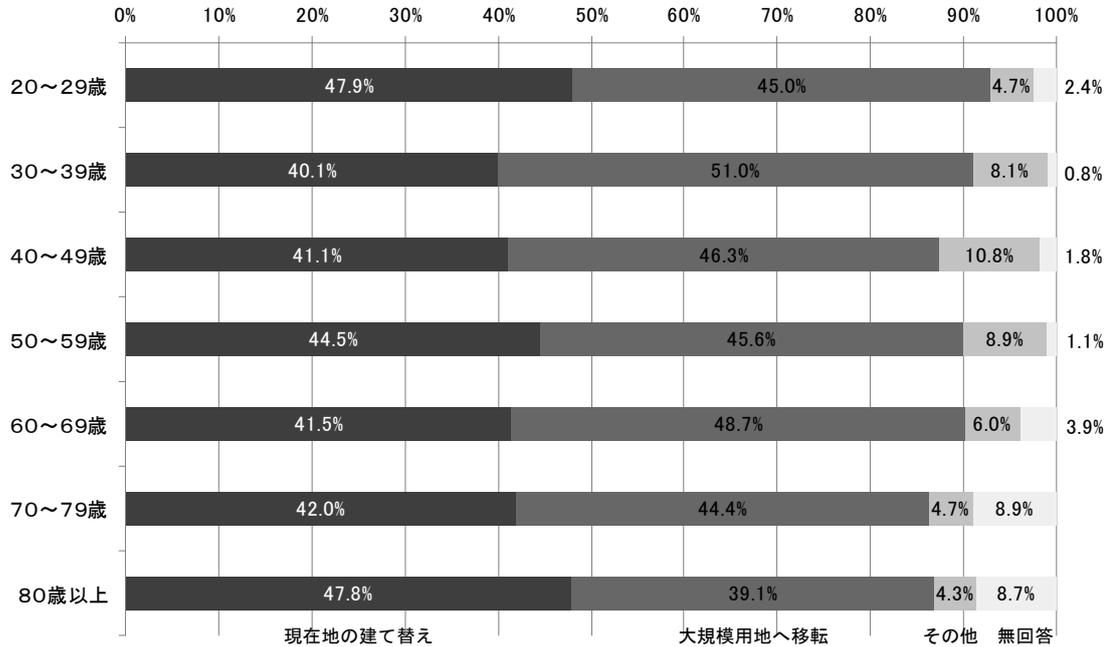


図 2.8-3 年齢別 本庁舎の建て替えに関する意向（郵送アンケート）

■ 郵送アンケート

	本庁舎の建て替えに関する意向				計
	現在の本庁舎を建て替え、一部は分散する	大規模用地へ移転して建て替え	その他	無回答	
20～29歳	81 (47.9%)	76 (45.0%)	8 (4.7%)	4 (2.4%)	169
30～39歳	153 (40.1%)	195 (51.0%)	31 (8.1%)	3 (0.8%)	382
40～49歳	163 (41.1%)	184 (46.3%)	43 (10.8%)	7 (1.8%)	397
50～59歳	125 (44.5%)	128 (45.6%)	25 (8.9%)	3 (1.1%)	281
60～69歳	139 (41.5%)	163 (48.7%)	20 (6.0%)	13 (3.9%)	335
70～79歳	108 (42.0%)	114 (44.4%)	12 (4.7%)	23 (8.9%)	257
80歳以上	33 (47.8%)	27 (39.1%)	3 (4.3%)	6 (8.7%)	69
無回答	1 (7.7%)	7 (53.8%)	0 (0.0%)	5 (38.5%)	13
計	803 (42.2%)	894 (47.0%)	142 (7.5%)	64 (3.4%)	1,903

(3) 居住地区別 本庁舎の建て替えに関する意向

居住地区別に本庁舎建て替えに関する意向を見ると、現在の本庁舎に近い地域となる「宮久保地区」「八幡地区」「中山地区」「本八幡南地区」については、「現在地の建て替え」が約 5 割と多い傾向にあり、自家用車を利用して本庁舎を利用しているという回答が多い「大柏地区」「国分・国府台地区」は、「大規模用地へ移転」が約 6 割と多い傾向になっている。

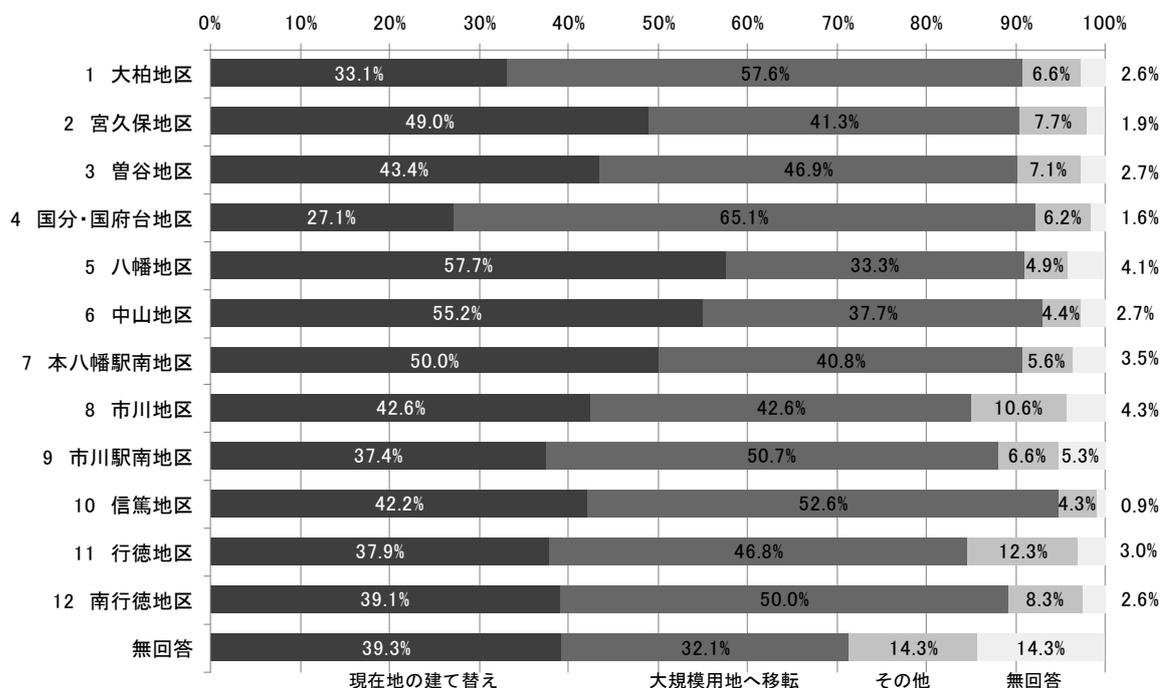


図 2.8-4 居住地区別 本庁舎の建て替えに関する意向（郵送アンケート）

■ 郵送アンケート

	本庁舎の建て替えに関する意向					計
	現在の本庁舎を建て替え、一部は分散する	大規模用地へ移転して建て替え	その他	無回答		
1 大柏地区	50 (33.1%)	87 (57.6%)	10 (6.6%)	4 (2.6%)		151
2 宮久保地区	51 (49.0%)	43 (41.3%)	8 (7.7%)	2 (1.9%)		104
3 曾谷地区	49 (43.4%)	53 (46.9%)	8 (7.1%)	3 (2.7%)		113
4 国分・国府台地区	35 (27.1%)	84 (65.1%)	8 (6.2%)	2 (1.6%)		129
5 八幡地区	71 (57.7%)	41 (33.3%)	6 (4.9%)	5 (4.1%)		123
6 中山地区	101 (55.2%)	69 (37.7%)	8 (4.4%)	5 (2.7%)		183
7 本八幡駅南地区	71 (50.0%)	58 (40.8%)	8 (5.6%)	5 (3.5%)		142
8 市川地区	40 (42.6%)	40 (42.6%)	10 (10.6%)	4 (4.3%)		94
9 市川駅南地区	85 (37.4%)	115 (50.7%)	15 (6.6%)	12 (5.3%)		227
10 信篤地区	49 (42.2%)	61 (52.6%)	5 (4.3%)	1 (0.9%)		116
11 行徳地区	89 (37.9%)	110 (46.8%)	29 (12.3%)	7 (3.0%)		235
12 南行徳地区	90 (39.1%)	115 (50.0%)	19 (8.3%)	6 (2.6%)		230
無回答	22 (39.3%)	18 (32.1%)	8 (14.3%)	8 (14.3%)		56
計	803 (42.2%)	894 (49.0%)	142 (7.5%)	64 (3.4%)		1,903

(4) 本庁舎を訪れて不便に感じたこと別 本庁舎の建て替えに関する意向

本庁舎を訪れて不便に感じたこと別に本庁舎建て替えに関する意向を見ると、

「駐車場・駐輪場が少ない」「周辺道路が渋滞・混雑している」の車利用に関すること、また、「本庁舎だけでは用事が済まず、分庁舎などにも行く必要があること」「駅から本庁舎までの距離が遠い」といった、庁舎の立地条件にともない生じている不便さを感じている場合については、それぞれ「大規模用地へ移転」が6割程度と高い傾向にあり、「大規模用地へ移転」することで改善することを希望している傾向にあることが読み取れる。

「窓口スペースにゆとりが少なく、プライバシーの確保が十分でない」「市民が自主的な活動で利用できる場所がない」については、庁舎の立地条件によらないためか、「現在地の建て替え」が「大規模用地へ移転」と同等もしくは若干高い傾向にある。

また、「特に不便を感じなかった」については、現在の本庁舎に不便を感じていないため「現在地の建て替え」が「大規模用地へ移転」を大きく上回っている。

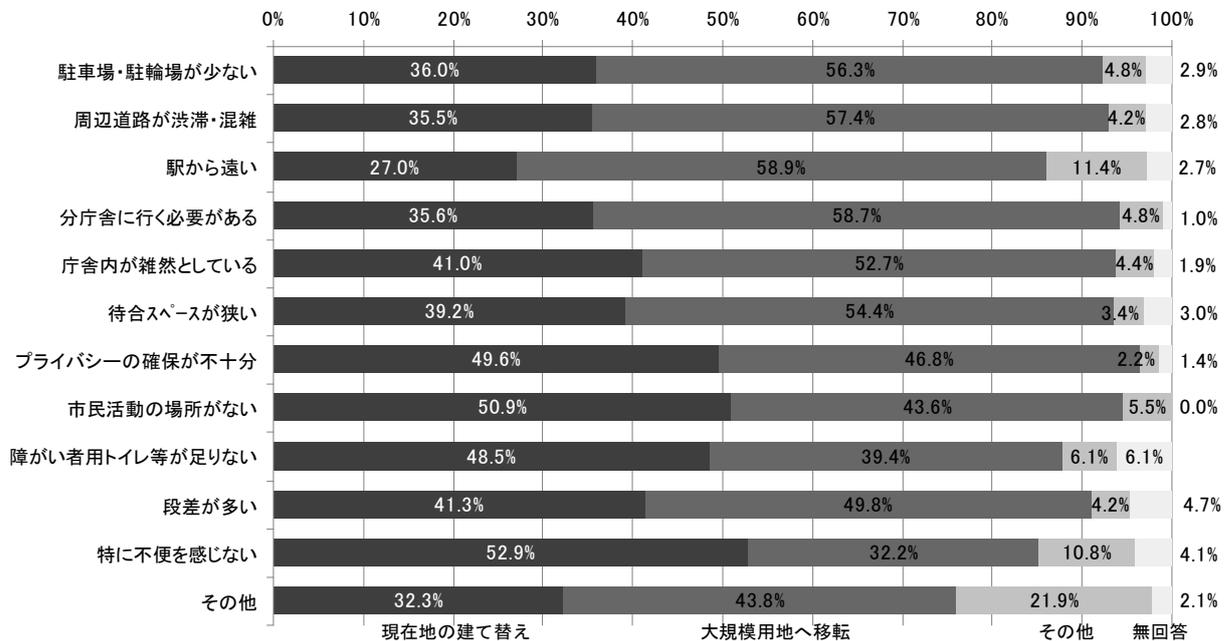


図 2.8-4 居住地区別 本庁舎の建て替えに関する意向（郵送アンケート）

市川市庁舎整備に関する市民意向調査業務委託

■ 郵送アンケート

	本庁舎の建て替えに関する意向					
	現在の本庁舎を建て替え、一部は分散する	大規模用地へ移転して建て替え	その他	無回答	計	
駐車場・駐輪場が少ない	226 (36.0%)	353 (56.3%)	30 (4.8%)	18 (2.9%)	627 (100.0%)	
周辺道路が渋滞・混雑している	268 (35.5%)	433 (57.4%)	32 (4.2%)	21 (2.8%)	754 (100.0%)	
駅から本庁舎までの距離が遠い	50 (27.0%)	109 (58.9%)	21 (11.4%)	5 (2.7%)	185 (100.0%)	
本庁舎だけでは用事が済まず、分庁舎などにも行く必要があること	37 (35.6%)	61 (58.7%)	5 (4.8%)	1 (1.0%)	104 (100.0%)	
窓口や担当部署の位置がわかりづらく、庁舎内が雑然としている	277 (41.0%)	356 (52.7%)	30 (4.4%)	13 (1.9%)	676 (100.0%)	
廊下、階段、ロビー、窓口の待合スペースが狭い	103 (39.2%)	143 (54.4%)	9 (3.4%)	8 (3.0%)	263 (100.0%)	
窓口スペースにゆとりが少なく、プライバシーの確保が十分でない	69 (49.6%)	65 (46.8%)	3 (2.2%)	2 (1.4%)	139 (100.0%)	
市民が自主的な活動で利用できる場所がない	28 (50.9%)	24 (43.6%)	3 (5.5%)	0 (0.0%)	55 (100.0%)	
障がい者用トイレ（多目的トイレ）、授乳室、相談スペースが足りない	16 (48.5%)	13 (39.4%)	2 (6.1%)	2 (6.1%)	33 (100.0%)	
段差や階段が多く移動しづらい	88 (41.3%)	106 (49.8%)	9 (4.2%)	10 (4.7%)	213 (100.0%)	
特に不便を感じなかった	156 (52.9%)	95 (32.2%)	32 (10.8%)	12 (4.1%)	295 (100.0%)	
その他	31 (32.3%)	42 (43.8%)	21 (21.9%)	2 (2.1%)	96 (100.0%)	
計	1,349 (39.2%)	1,800 (52.3%)	197 (5.7%)	94 (2.7%)	3,440 (100.0%)	

(5) 市川市に居住している期間別 本庁舎の建て替えに関する意向

市川市に居住している期間別に本庁舎建て替えに関する意向を見ると、居住期間によって「現在地の建て替え」「大規模用地へ移転」の比率に大きな差異はなく、全体の傾向とほぼ同じ比率となっている。

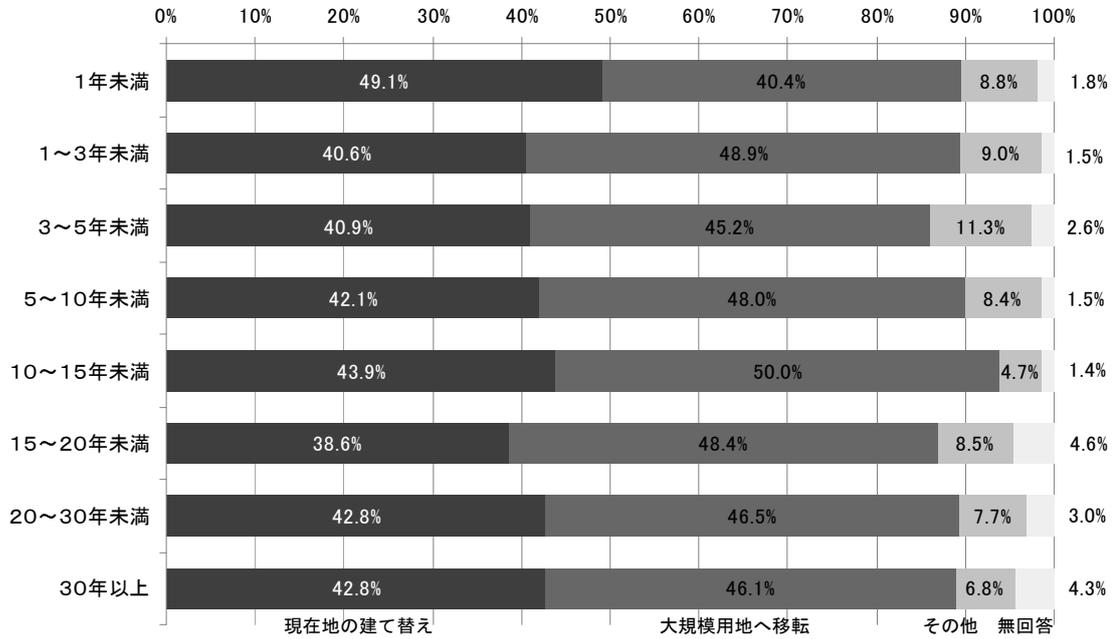


図 2.8-5 市川市に居住している期間別 本庁舎の建て替えに関する意向（郵送アンケート）

	本庁舎の建て替えに関する意向					計
	現在の本庁舎を建て替え、一部は分散する	大規模用地へ移転して建て替え	その他	無回答		
1年未満	28 (49.1%)	23 (40.4%)	5 (8.8%)	1 1.8%	57	
1～3年未満	54 (40.6%)	65 (48.9%)	12 (9.0%)	2 1.5%	133	
3～5年未満	47 (40.9%)	52 (45.2%)	13 (11.3%)	3 2.6%	115	
5～10年未満	85 (42.1%)	97 (48.0%)	17 (8.4%)	3 1.5%	202	
10～15年未満	93 (43.9%)	106 (50.0%)	10 (4.7%)	3 1.4%	212	
15～20年未満	59 (38.6%)	74 (48.4%)	13 (8.5%)	7 4.6%	153	
20～30年未満	128 (42.8%)	139 (46.5%)	23 (7.7%)	9 3.0%	299	
30年以上	308 (42.8%)	332 (46.1%)	49 (6.8%)	31 4.3%	720	
無回答	1 (8.3%)	6 (50.0%)	(0.0%)	5 41.7%	12	
計	803 (42.2%)	894 (47.0%)	142 (7.5%)	64 3.4%	1,903	

## 2.9 現在地を建て替えて、分散しなければならない場合の優先事項

### (1) 現在地を建て替えて、分散しなければならない場合の優先事項

問 8 現在の本庁舎敷地で建て替えただけでは、高さ制限のため必要な面積を確保することができず、庁舎を分散して整備しなければなりません。

そこで、分散しなければならないのであれば、どのようなことをもっとも優先するべきだと思いますか。(問 7 で「現在の本庁舎を建て替え、一部は分散する」と答えた場合、○はひとつ)

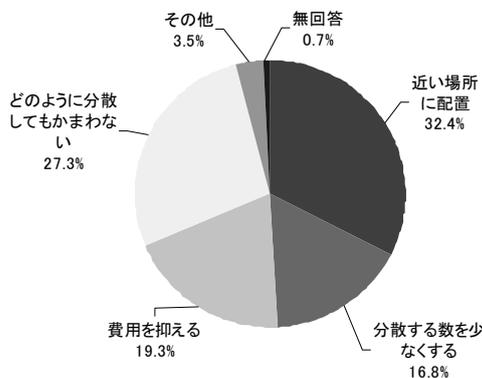


図 2.9-1 現在地を建て替えて、分散しなければならない場合の優先事項 (郵送アンケート)

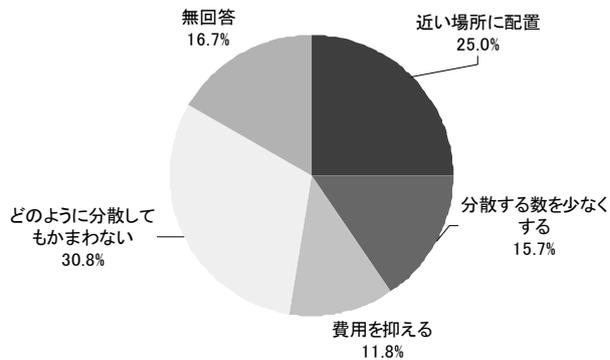


図 2.9-2 現在地を建て替えて、分散しなければならない場合の優先事項 (広報アンケート)

分散しなければならない場合の優先事項は、郵送アンケートでは、「分散する庁舎を本庁舎からできるだけ近い場所にすること」が 32.4%と最も多く、次いで「本庁舎は主に利用する窓口が集まっていれば、庁舎がどのように分散していても構わない」が 27.3%となっている。

広報アンケートでは、「本庁舎は主に利用する窓口が集まっていれば、庁舎がどのように分散していても構わない」が 30.8%と最も多く、次いで「分散する庁舎を本庁舎からできるだけ近い場所にすること」が 25.0%となっている。

	郵送アンケート		広報アンケート	
分散する庁舎を本庁舎からできるだけ近い場所にすること	260	(32.4%)	271	(25.0%)
分散する数をできるだけ少なくすること	135	(16.8%)	170	(15.7%)
分散する庁舎を整備するための費用をできるだけ抑えること	155	(19.3%)	128	(11.8%)
本庁舎に主に利用する窓口が集まっていれば、庁舎がどのように分散していても構わない	219	(27.3%)	334	(30.8%)
その他	28	(3.5%)	—	—
無回答	6	(0.7%)	181	(16.7%)
計	803	(100%)	1,084	(100.0%)

(2) 年齢別 現在地を建て替えて、分散しなければならない場合の優先事項

年齢別に現在地を建て替えて、分散する場合の優先事項を見ると、60歳代以上で「分散する庁舎を本庁舎からできるだけ近い場所にすること」が約4割と平均より、若干高い傾向となっている。

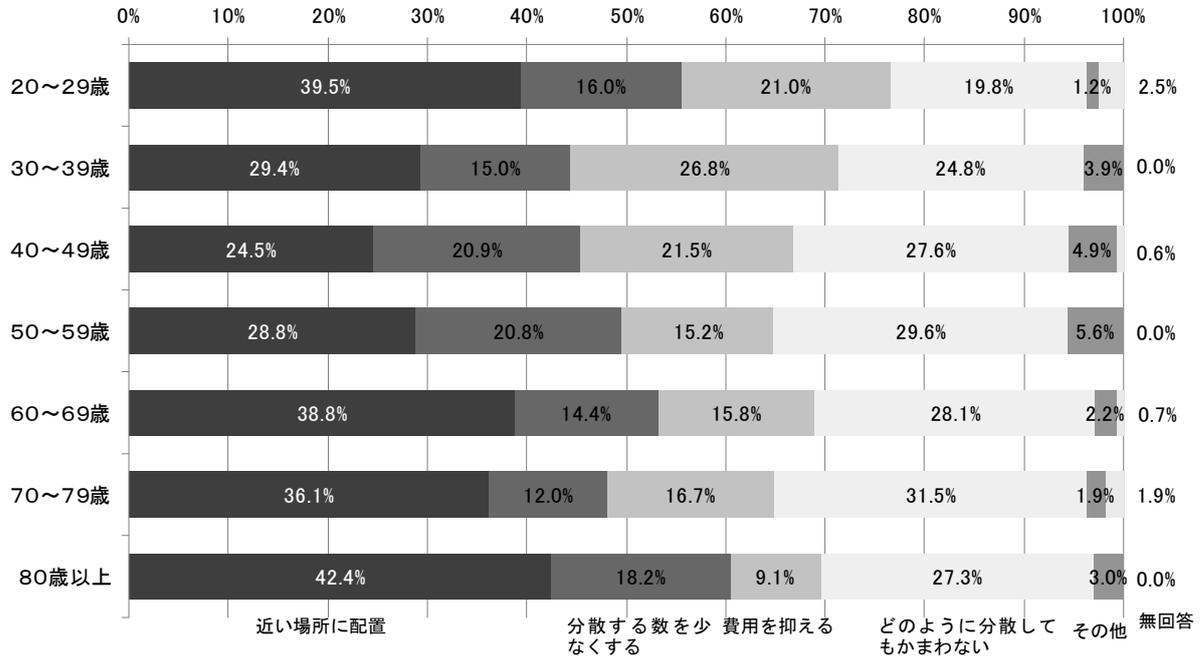


図 2.9-3 年齢別 現在地を建て替えて、分散しなければならない場合の優先事項 (郵送アンケート)

■ 郵送アンケート

	現在地を建て替えて、分散しなければならない場合の優先事項						
	分散する庁舎を本庁舎からできるだけ近い場所にすること	分散する数をできるだけ少なくすること	分散する庁舎を整備するための費用をできるだけ抑えること	本庁舎に主に利用する窓口が集まっていれば、庁舎がどのように分散してもかまわない	その他	無回答	計
20～29歳	32 (39.5%)	13 (16.0%)	17 (21.0%)	16 (19.8%)	1 (1.2%)	2 (2.5%)	81
30～39歳	45 (29.4%)	23 (15.0%)	41 (26.8%)	38 (24.8%)	6 (3.9%)	0 (0.0%)	153
40～49歳	40 (24.5%)	34 (20.9%)	35 (21.5%)	45 (27.6%)	8 (4.9%)	1 (0.6%)	163
50～59歳	36 (28.8%)	26 (20.8%)	19 (15.2%)	37 (29.6%)	7 (5.6%)	0 (0.0%)	125
60～69歳	54 (38.8%)	20 (14.4%)	22 (15.8%)	39 (28.1%)	3 (2.2%)	1 (0.7%)	139
70～79歳	39 (36.1%)	13 (12.0%)	18 (16.7%)	34 (31.5%)	2 (1.9%)	2 (1.9%)	108
80歳以上	14 (42.4%)	6 (18.2%)	3 (9.1%)	9 (27.3%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)	33
無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1
計	260 (32.4%)	135 (16.8%)	155 (19.3%)	219 (27.3%)	28 (3.5%)	6 (0.7%)	803

## 2.10 希望する移転先の地区

### (1) 希望する移転先の地区

問9 本庁舎を移転する場合、どの地区が望ましいですか。(問7で「大規模用地へ移転して建て替え」と答えた場合、○をひとつ)

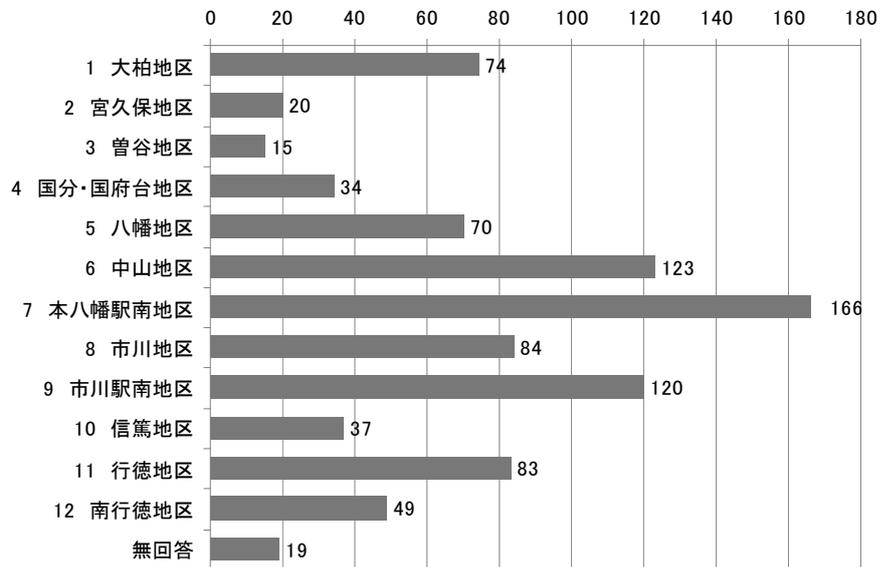


図 2.10-1 希望する移転先の地区 (郵送アンケート)

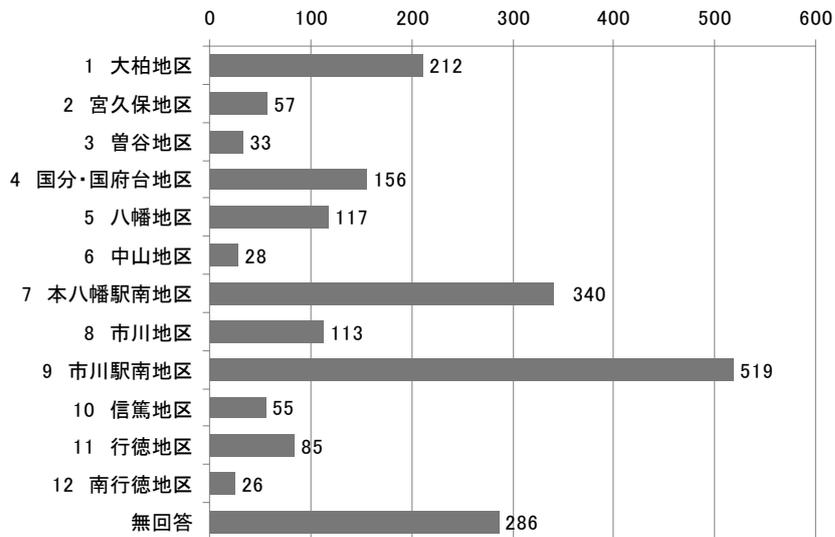


図 2.10-2 希望する移転先の地区 (広報アンケート)

希望する移転先の地区は、郵送アンケートで、「本八幡駅南地区」が 18.6%、「中山地区」が 13.8%、「市川駅南地区」が 13.4%の順に多くなっている。

一方、広報アンケートでは、「市川駅南地区」が 25.6%、「本八幡駅南地区」が 16.8%、「大柏地区」が 10.5%となっている。アンケートによってポイントは変わるが、どちらも八幡・市川周辺といった市中心部への移転の希望が多いことが見れる。

	郵送アンケート		広報アンケート	
1 大柏地区	74	(8.3%)	212	(10.5%)
2 宮久保地区	20	(2.2%)	57	(2.8%)
3 曾谷地区	15	(1.7%)	33	(1.6%)
4 国分・国府台地区	34	(3.8%)	156	(7.7%)
5 八幡地区	70	(7.8%)	117	(5.8%)
6 中山地区	123	(13.8%)	28	(1.4%)
7 本八幡駅南地区	166	(18.6%)	340	(16.8%)
8 市川地区	84	(9.4%)	113	(5.6%)
9 市川駅南地区	120	(13.4%)	519	(25.6%)
10 信篤地区	37	(4.1%)	55	(2.7%)
11 行徳地区	83	(9.3%)	85	(4.2%)
12 南行徳地区	49	(5.5%)	26	(1.3%)
無回答	19	(2.1%)	286	(14.1%)
計	894	(100%)	2,027	(100.0%)

(2) 居住地区別 希望する移転先の地区

居住地区別に希望する移転先の地区を見ると、「全ての地区」で「当該居住地区」の比率が高くなっているが、比較的公共交通機関による利便性がよい「八幡地区」「中山地区」「本八幡地区」「市川地区」への希望については、当該地域に居住するものからの希望が突出することなく、周辺地域の居住者からもまんべんなく希望される傾向にある。



図 2.10-3 大柏地区希望者の居住地区内訳



図 2.10-4 宮久保地区希望者の居住地区内訳

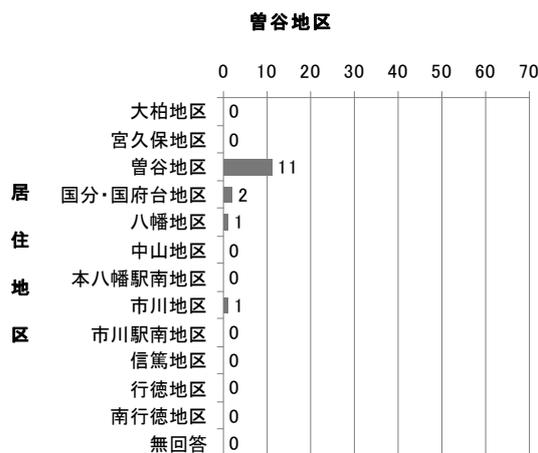


図 2.10-5 曾谷地区希望者の居住地区内訳

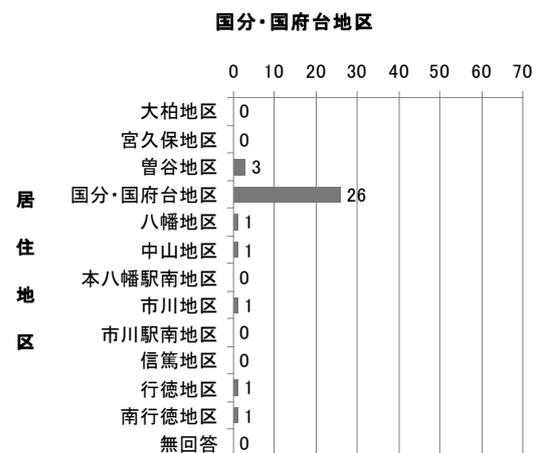


図 2.10-6 国分・国府台地区希望者の居住地区内訳

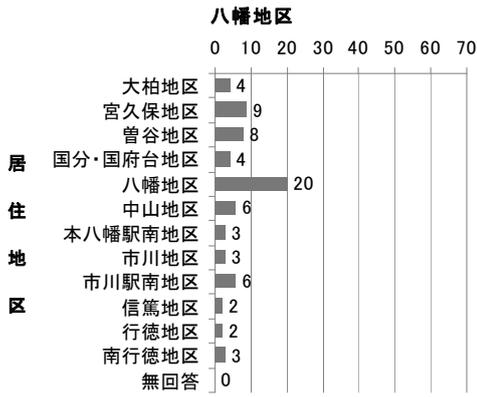


図 2.10-7 八幡地区希望者の居住地区内訳

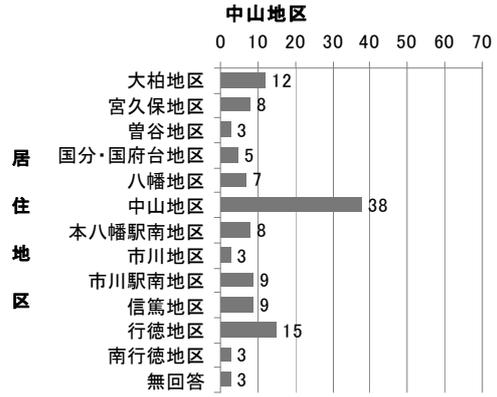


図 2.10-8 中山地区希望者の居住地区内訳

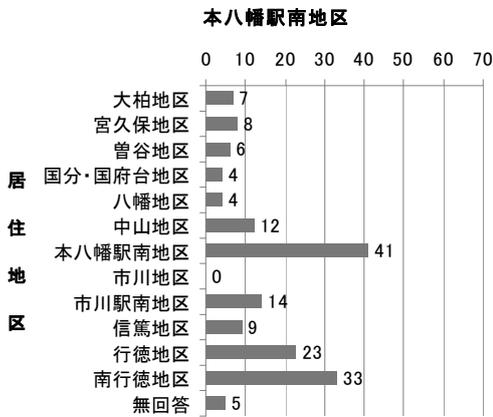


図 2.10-9 本八幡駅南地区希望者の居住地区内訳

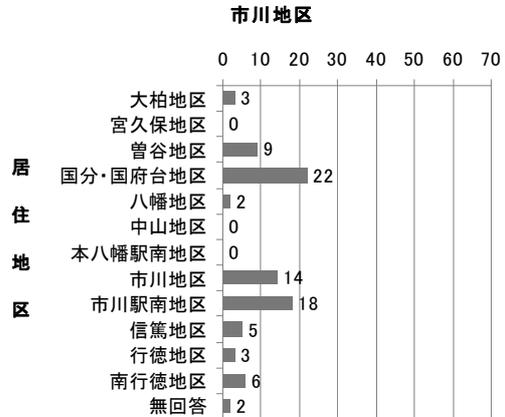


図 2.10-10 市川地区希望者の居住地区内訳

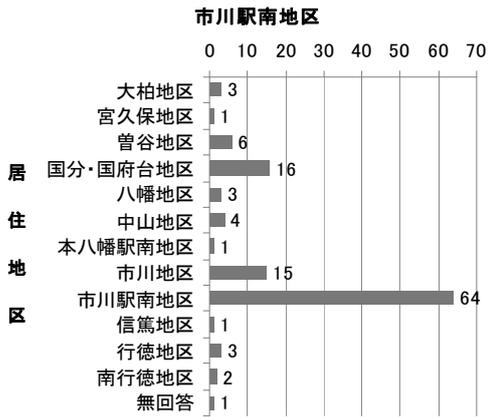


図 2.10-11 市川駅南地区希望者の居住地区内訳

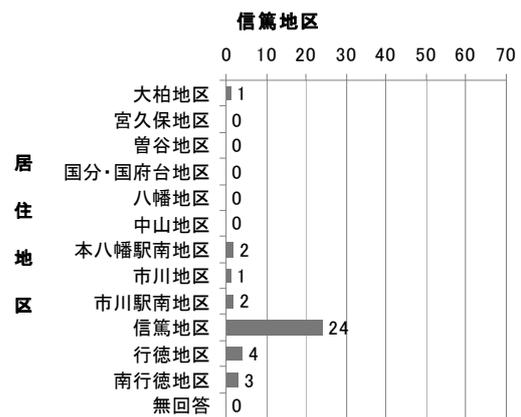


図 2.10-12 信篤地区希望者の居住地区内訳

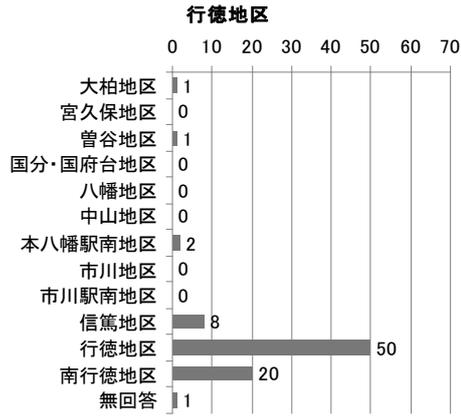


図 2.10-13 行徳地区希望者の居住地区内訳

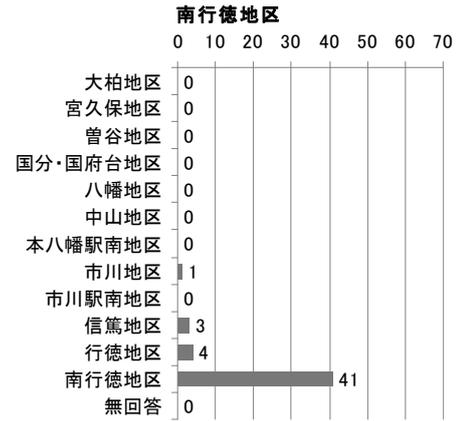


図 2.10-14 南行徳地区希望者の居住地区内訳

## ■ 郵送アンケート

		希望する移転先の地区				
		大柏地区	宮久保地区	曾谷地区	国分・国府台地区	八幡地区
居住地区	大柏地区	53 (71.6%)	3 (15.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (5.7%)
	宮久保地区	4 (5.4%)	11 (55.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (12.9%)
	曾谷地区	1 (1.4%)	4 (20.0%)	11 (73.3%)	3 (8.8%)	8 (11.4%)
	国分・国府台地区	3 (4.1%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)	26 (76.5%)	4 (5.7%)
	八幡地区	2 (2.7%)	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (2.9%)	20 (28.6%)
	中山地区	3 (4.1%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	6 (8.6%)
	本八幡駅南地区	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (4.3%)
	市川地区	1 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (6.7%)	1 (2.9%)	3 (4.3%)
	市川駅南地区	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (8.6%)
	信篤地区	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (2.9%)
	行徳地区	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	2 (2.9%)
	南行徳地区	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.9%)	3 (4.3%)
	無回答	4 (5.4%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計	74 (100.0%)	20 (100.0%)	15 (100.0%)	34 (100.0%)	70 (100.0%)	

		希望する移転先の地区				
		中山地区	本八幡駅南地区	市川地区	市川駅南地区	信篤地区
居住地区	大柏地区	12 (9.8%)	7 (4.2%)	3 (3.6%)	3 (2.5%)	1 (2.7%)
	宮久保地区	8 (6.5%)	8 (4.8%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)
	曾谷地区	3 (2.4%)	6 (3.6%)	9 (10.7%)	6 (5.0%)	0 (0.0%)
	国分・国府台地区	5 (4.1%)	4 (2.4%)	22 (26.2%)	16 (13.3%)	0 (0.0%)
	八幡地区	7 (5.7%)	4 (2.4%)	2 (2.4%)	3 (2.5%)	0 (0.0%)
	中山地区	38 (30.9%)	12 (7.2%)	0 (0.0%)	4 (3.3%)	0 (0.0%)
	本八幡駅南地区	8 (6.5%)	41 (24.7%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	2 (5.4%)
	市川地区	3 (2.4%)	0 (0.0%)	14 (16.7%)	15 (12.5%)	1 (2.7%)
	市川駅南地区	9 (7.3%)	14 (8.4%)	18 (21.4%)	64 (53.3%)	2 (5.4%)
	信篤地区	9 (7.3%)	9 (5.4%)	5 (6.0%)	1 (0.8%)	24 (64.9%)
	行徳地区	15 (12.2%)	23 (13.9%)	3 (3.6%)	3 (2.5%)	4 (10.8%)
	南行徳地区	3 (2.4%)	33 (19.9%)	6 (7.1%)	2 (1.7%)	3 (8.1%)
	無回答	3 (2.4%)	5 (3.0%)	2 (2.4%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)
計	123 (100.0%)	166 (100.0%)	84 (100.0%)	120 (100.0%)	37 (100.0%)	

		希望する移転先の地区			
		行徳地区	南行徳地区	無回答	計
居住地区	大柏地区	1 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	87
	宮久保地区	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	43
	曾谷地区	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	53
	国分・国府台地区	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	84
	八幡地区	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	41
	中山地区	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (21.1%)	69
	本八幡駅南地区	2 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	58
	市川地区	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	40
	市川駅南地区	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	115
	信篤地区	8 (9.6%)	3 (6.1%)	0 (0.0%)	61
	行徳地区	50 (60.2%)	4 (8.2%)	4 (21.1%)	110
	南行徳地区	20 (24.1%)	41 (83.7%)	2 (10.5%)	115
	無回答	1 (1.2%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	18
計	83 (100.0%)	49 (100.0%)	19 (100.0%)	894	

## 2.11 歩いてよいとする最寄駅から本庁舎までの距離（移転の場合）

### (1) 歩いてよいとする最寄駅から本庁舎までの距離（移転の場合）

問 10 これまで用地調査を行ってまいりましたが、候補用地は限られており、現在のような駅の近くに整備できない状況です。そこで、本庁舎の場所は最寄駅からどのくらいの範囲までなら歩いてよいですか。（問 7 で「大規模用地へ移転して建て替え」と答えた場合、○はひとつ）

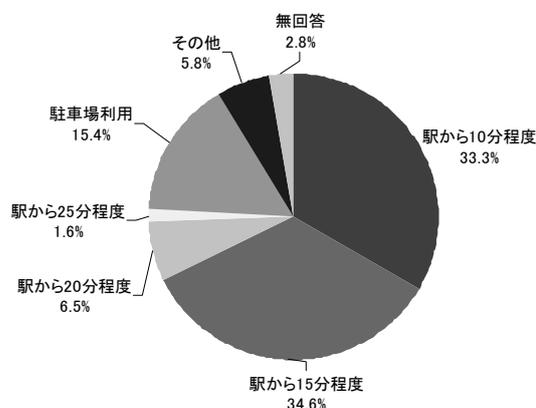


図 2.11-1 歩いてよいとする最寄駅から本庁舎までの距離（郵送アンケート）

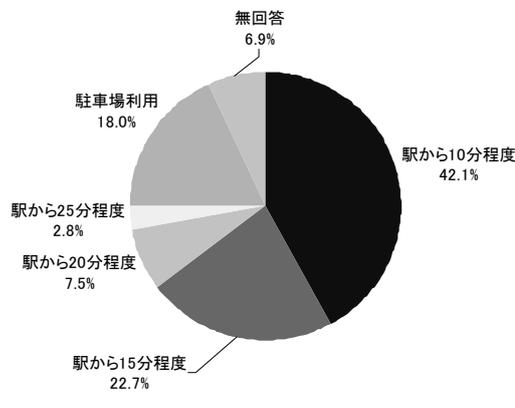


図 2.11-2 歩いてよいとする最寄駅から本庁舎までの距離（広報アンケート）

歩いてよいとする最寄駅から本庁舎までの距離は、郵送アンケートでは、「駅から 15 分程度(距離 900m 程度)なら歩いてよい」が 34.6%、「駅から 10 分程度(距離 600m 程度)なら歩いてよい」が 33.3%と多く、次いで「駐車場があり、車で利用できれば駅の近くに必要はない」が 15.4%となっている。

一方、広報アンケートでは、「駅から 10 分程度(距離 600m 程度)なら歩いてよい」が 42.1%で半数近くなり、「駅から 15 分程度(距離 900m 程度)なら歩いてよい」が 22.7%、「駐車場があり、車で利用できれば駅の近くに必要はない」が 18.0%となり、車利用に関する傾向は郵送アンケートと広報アンケートで同程度となった。

	郵送アンケート	広報アンケート
駅から 10 分程度（距離 600m程度）なら歩いてよい	298 (33.3%)	853 (42.1%)
駅から 15 分程度（距離 900m程度）なら歩いてよい	309 (34.6%)	460 (22.7%)
駅から 20 分程度（距離 1200m程度）なら歩いてよい	58 (6.5%)	153 (7.5%)
駅から 25 分程度（距離 1500m程度）なら歩いてよい	14 (1.6%)	57 (2.8%)
駐車場があり車で利用できれば、駅の近くに必要ない	138 (15.4%)	364 (18.0%)
その他	52 (5.8%)	—
無回答	25 (2.8%)	140 (6.9%)
計	894 (100.0%)	2,027 (100.0%)

## (2) 希望する移転先の地区と歩いてよいとする最寄駅から本庁舎までの距離（移転の場合）を組み合わせた傾向

希望する移転先の地区と歩いてよいとする最寄駅から本庁舎までの距離の希望をそれぞれ組み合わせると、「駅から15分程度の本八幡駅南地区」が76ポイントと最も多く、次いで「駅から10分もしくは15分程度の中山地区」「駅から10分もしくは15分程度の市川駅南地区」がほぼ同程度のポイントとなっている。

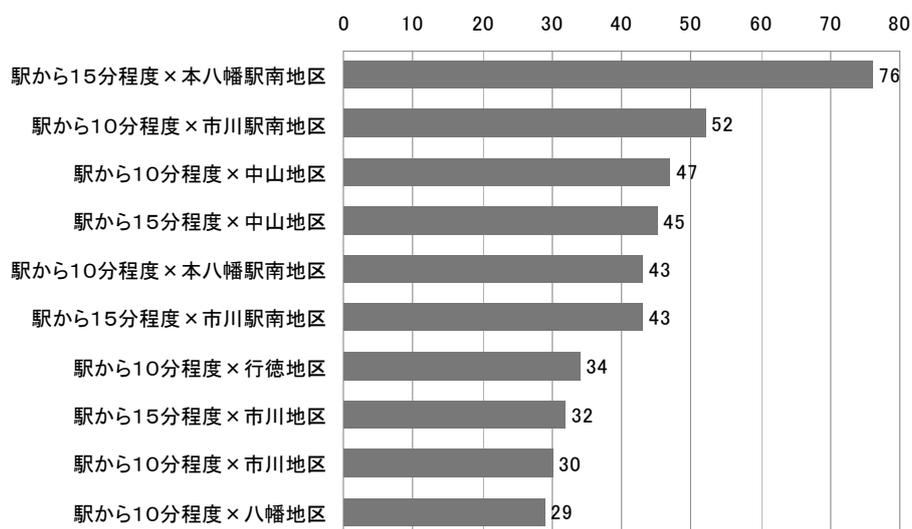


図 2.11-1 希望する移転先の地区と歩いてよいとする最寄駅から本庁舎までの距離（移転の場合）を組み合わせた傾向（郵送アンケート・上位10位）

市川市庁舎整備に関する市民意向調査業務委託

■ 郵送アンケート

順位	項目	票数	順位	項目	票数
1	駅から15分程度×本八幡駅南地区	76	44	駅から20分程度×宮久保地区	4
2	駅から10分程度×市川駅南地区	52	44	その他×市川駅南地区	4
3	駅から10分程度×中山地区	47	44	その他×南行徳地区	4
4	駅から15分程度×中山地区	45	44	その他×八幡地区	4
5	駅から15分程度×市川駅南地区	43	51	駅から20分程度×国分・国府台地区	3
5	駅から10分程度×本八幡駅南地区	43	51	駅から25分程度×中山地区	3
7	駅から10分程度×行徳地区	34	51	駅から25分程度×市川駅南地区	3
8	駅から15分程度×市川地区	32	51	無回答×市川駅南地区	3
9	駅から10分程度×市川地区	30	51	駅から25分程度×行徳地区	3
10	駅から10分程度×八幡地区	29	51	その他×行徳地区	3
11	駅から15分程度×行徳地区	27	51	駅から10分程度×無回答地区	3
12	駅から15分程度×八幡地区	25	51	駅から15分程度×無回答地区	3
12	駅から15分程度×大柏地区	23	59	無回答×大柏地区	2
14	駅から10分程度×南行徳地区	22	59	駅から10分程度×宮久保地区	2
15	駐車場があればよい×本八幡駅南地区	20	59	駅から15分程度×宮久保地区	2
16	駐車場があればよい×大柏地区	19	59	無回答×曽谷地区	2
17	駅から10分程度×大柏地区	14	59	駅から25分程度×市川地区	2
18	その他×本八幡駅南地区	13	59	無回答×市川地区	2
18	駐車場があればよい×中山地区	13	59	駅から20分程度×無回答地区	2
20	駅から10分程度×信篤地区	12	59	無回答×無回答地区	2
20	駐車場があればよい×信篤地区	12	59	その他×無回答地区	2
20	駅から15分程度×南行徳地区	12	68	駅から25分程度×大柏地区	1
23	駐車場があればよい×国分・国府台地区	11	68	駅から25分程度×宮久保地区	1
23	駅から15分程度×信篤地区	11	68	その他×宮久保地区	1
23	駐車場があればよい×行徳地区	11	68	駅から10分程度×曽谷地区	1
26	駅から20分程度×大柏地区	10	68	駅から15分程度×曽谷地区	1
26	駐車場があればよい×南行徳地区	10	68	その他×国分・国府台地区	1
26	駐車場があればよい×宮久保地区	10	68	無回答×国分・国府台地区	1
29	駅から10分程度×国分・国府台地区	9	68	無回答×八幡地区	1
29	駅から15分程度×国分・国府台地区	9	68	無回答×中山地区	1
31	駅から20分程度×市川駅南地区	8	68	駅から25分程度×本八幡駅南地区	1
31	駅から20分程度×中山地区	8	68	駅から20分程度×信篤地区	1
33	駐車場があればよい×曽谷地区	7	68	無回答×信篤地区	1
33	駅から20分程度×八幡地区	7	68	駅から20分程度×行徳地区	1
33	駅から20分程度×本八幡駅南地区	7	68	駅から20分程度×南行徳地区	1
33	駐車場があればよい×市川駅南地区	7	82	無回答×宮久保地区	0
33	駐車場があればよい×無回答地区	7	82	駅から20分程度×曽谷地区	0
33	駐車場があればよい×市川地区	7	82	駅から25分程度×曽谷地区	0
39	無回答×本八幡駅南地区	6	82	駅から25分程度×国分・国府台地区	0
39	その他×中山地区	6	82	駅から25分程度×八幡地区	0
39	駅から20分程度×市川地区	6	82	駅から25分程度×信篤地区	0
42	その他×大柏地区	5	82	その他×信篤地区	0
42	その他×市川地区	5	82	駅から25分程度×南行徳地区	0
44	その他×曽谷地区	4	82	無回答×南行徳地区	0
44	駐車場があればよい×八幡地区	4	82	駅から25分程度×無回答地区	0
44	無回答×行徳地区	4			

## 2.12 新しい本庁舎に望む機能

### (1) 新しい本庁舎に望む機能

問1 これからの市役所本庁舎に望む機能として、主にどのようなものが必要と感じますか。

(○は3つまで)

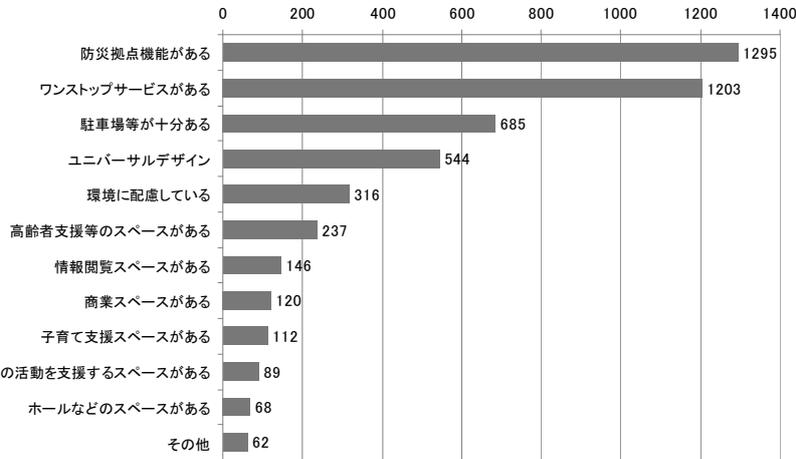


図 2.12-1 新しい庁舎に望む機能（郵送アンケート）

新しい本庁舎に望む機能は、「防災拠点機能がある」が 1,295 件(68.1%)、「ワンストップサービスがある」が 1,203 件(63.2%)と 6 割以上と非常に多く、次いで「駐車場や駐輪場が十分確保されていること」が 685 件(36.0%)、「誰もが利用しやすい施設であること(バリアフリーやユニバーサルデザイン)」が 544 件(28.6%)となっている。

#### ■ 郵送アンケート

災害時に支援や復興活動の拠点（防災拠点）となる機能や備蓄倉庫があること	1,295	(68.1%)
一度に様々な申請手続きや相談ができる総合受付窓口があること（ワンストップサービス）	1,203	(63.2%)
駐車場や駐輪場が十分確保されていること	685	(36.0%)
誰もが利用しやすい施設であること（バリアフリーやユニバーサルデザイン）	544	(28.6%)
自然エネルギーの活用や省エネルギー等、環境に配慮していること	316	(16.6%)
高齢者や障害者が談話や相談ができるスペースがあること	237	(12.5%)
市制や地域の情報を知ることができる情報閲覧スペースがあること	146	(7.7%)
食事や買い物ができる商業スペースがあること	120	(6.3%)
子育て中の親子が交流や相談ができるスペースがあること	112	(5.9%)
市民やボランティア団体などが自由に使える会議室やパソコン、印刷機などの機器を備えたスペースがあること	89	(4.7%)
市民が発表、展示、交流などの活動ができるホールなどのスペースがあること	68	(3.6%)
その他	62	(3.3%)
計	4,877	(256.3%)

(2) 新しい本庁舎に望む機能別 本庁舎の建て替えに関する意向

新しい本庁舎に望む機能別に本庁舎の建て替えに関する意向を整理すると、「駐車場や駐輪場が十分確保されていること」については、「大規模用地へ移転して建て替え」が約 6 割と多い傾向があり、2.8 (4) と同様に、移転によって機能の向上が希望されてることがうかがえる。

また、「市民が発表、展示、交流などの活動ができるホールなどのスペースがあること」「食事や買い物ができる商業スペースがあること」についても「大規模用地へ移転して建て替え」が約 7 割と高い傾向にある。

その他の機能については、機能によって「現在地の建て替え」「大規模用地へ移転」の比率に大きな差異はなく、全体の傾向とほぼ同じ比率となっている。

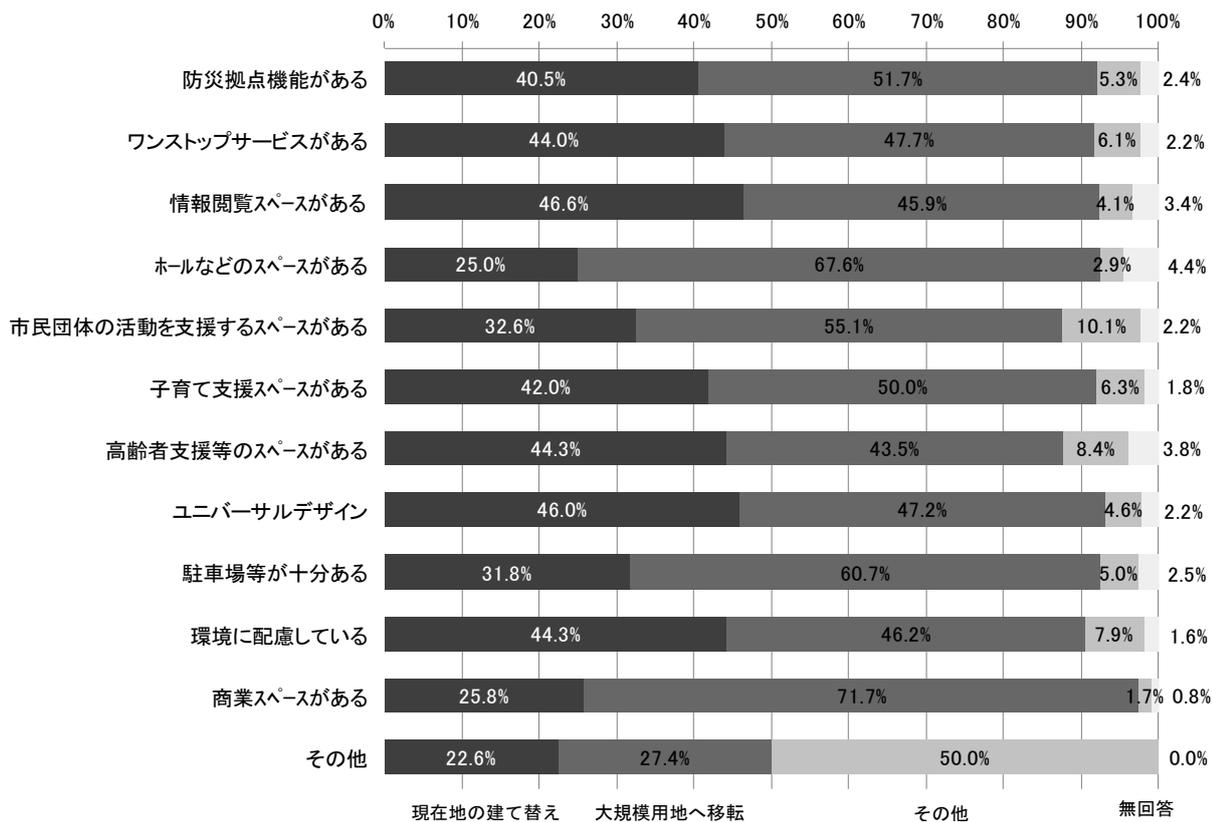


図 2.12-2 新しい庁舎に望む機能別 本庁舎の建て替えに関する意向（郵送アンケート）

## ■ 郵送アンケート

	現在の本庁舎を建て替え、一部は分散する	大規模用地へ移転して建て替え	その他	無回答	計
災害時に支援や復興活動の拠点、(防災拠点)となる機能や備蓄倉庫があること	525 (40.5%)	670 (51.7%)	69 (5.3%)	31 (2.4%)	1,295
一度に様々な申請手続きや相談ができる総合受付窓口があること(ワンストップサービス)	529 (44.0%)	574 (47.7%)	73 (6.1%)	27 (2.2%)	1,203
市制や地域の情報を知ることができる情報閲覧スペースがあること	68 (46.6%)	67 (45.9%)	6 (4.1%)	5 (3.4%)	146
市民が発表、展示、交流などの活動ができるホールなどのスペースがあること	17 (25.0%)	46 (67.6%)	2 (2.9%)	3 (4.4%)	68
市民やボランティア団体などが自由に使える会議室やパソコン、印刷機などの機器を備えたスペースがあること	29 (32.6%)	49 (55.1%)	9 (10.1%)	2 (2.2%)	89
子育て中の親子が交流や相談ができるスペースがあること	47 (42.0%)	56 (50.0%)	7 (6.3%)	2 (1.8%)	112
高齢者や障害者が談話や相談ができるスペースがあること	105 (44.3%)	103 (43.5%)	20 (8.4%)	9 (3.8%)	237
誰もが利用しやすい施設であること(バリアフリーやユニバーサルデザイン)	250 (46.0%)	257 (47.2%)	25 (4.6%)	12 (2.2%)	544
駐車場や駐輪場が十分確保されていること	218 (31.8%)	416 (60.7%)	34 (5.0%)	17 (2.5%)	685
自然エネルギーの活用や省エネルギー等、環境に配慮していること	140 (44.3%)	146 (46.2%)	25 (7.9%)	5 (1.6%)	316
食事や買い物ができる商業スペースがあること	31 (25.8%)	86 (71.7%)	2 (1.7%)	1 (0.8%)	120
その他	14 (22.6%)	17 (27.4%)	31 (50.0%)	0 (0.0%)	62
計	1,973 (40.5%)	2,487 (51.0%)	303 (6.2%)	114 (2.3%)	4,877